

はじめての WebCT



10分ルール

10分間試行錯誤をして解決しない場合は、外部に回答を求めましょう。

センターへ多くの質問があればあるほど、Q&Aの蓄積がなされてよりよいサポートができるようになります。MLへの質問はユーザグループの活性化につながります。なによりあなたの時間の節約になります。

どこに聞けばいいの？

wbt-adm@riise.hiroshima-u.ac.jp

→メディアセンターのサポート窓口

wbt-ml@riise.hiroshima-u.ac.jp

→広島大学 WebCT 利用教員とセンタースタッフの ML

Ask Dr.C http://www.webct.com/ask_drc

→ WebCT 社が運営する WebCT ユーザのための掲示板

はじめての WebCT

目次

はじめに 4

WebCT って?	4
WebCT を授業に利用する	4
WebCT を利用するのに必要な環境	5
この冊子について	5

WebCT へのログイン 6

パスワードの変更	7
コラム：追加の WebCT ID	7

コースホームページ 8

デザイナーモードとプレビュー	8
コースホームページの構成	9
コラム：プレビューモードも完全ではない ★	9

「この授業について」 -- シラバスツール 10

概要	10
セクションの編集	11
セクションの追加と削除	12
コラム：フォーマット：テキスト？HTML？ ★	13

「授業資料」 -- コンテンツモジュールツール 14

概要	14
PC 上のファイルを目次に追加する	15
目次項目名の変更	17
目次項目の順序変更、グルーピング	18
学生ビューの更新 ★	18
目次項目の削除	18
閲覧履歴の照会	19
PowerPoint の HTML ファイルを使う	20

「カレンダー」 -- カレンダーツール 22

概要	22
カレンダー項目（エントリ）の追加	22

「レポート」 -- 課題ツール 24

概要	24
課題を作成する	24
レポートを閲覧、採点する	26

学生の提出ファイルを一括ダウンロード	27
一括して点数入力する	28
点数のダウンロード	29

「掲示板」 -- ディスカッションツール 30

概要	30
掲示板に書き込む	30
記事を読む	31
コラム：「ノート」って何？	31

コース管理 32

学生を登録する ★	32
コラム：ダミー生徒も登録しましょう	32
TA を登録する	33
コラム：TA が WebCT ID を持っていない場合	33
複数教員で管理する	34
コースのバックアップを作成する ★	35

コースホームページ (2) 36

ヘッダのテキストを書き換える	36
フッタ領域に画像を表示させる	37
アイコンを変更する	38
ツールの追加	39
コースを階層的に構成する	40

テスト・アンケート 42

概要	42
テストを作る	43
コラム：テスト設定の確認	47
テスト回答状況の閲覧	48
コラム：悩みの種、ポップアップブロック… ★	49
ランダムに出題されるテストの作り方	50
コラム：質問データベース	50
質問のエクスポートとインポート	51

★ は、一見目立たないけれど実は重要な項目です。是非目を通してください。

はじめに

WebCT って？

映画や雑誌、TV 番組等が各々独自のホームページを持っているように、大学で行なわれているひとつひとつの授業にもホームページがあれば、様々な Web のメリットを活用することができます。

しかし、大学教員は多忙であり、また必ずしも Web サイト構築のエキスパートではありません。

昨今、良質な Web ページ作成ソフトウェアが出現していることや、オフィス系ソフトウェアなども Web ページ作成の機能をサポートしていることから、Web ページそのもの (Web コンテンツ) の作成はかなり楽になってきました。それでも、大学教員が Web を授業に利用しようとする際には、少し考えただけで多くの技術的な壁が発生します。

例えば、Web のアクセシビリティを活用し、受講者に授業用資料を提示したいと考えたとしましょう。まったくオープンにしても良いものであれば、ただ Web サーバに上げておくだけです。しかし内容によっては一般的に公開する事があまり好ましくないものがあるかもしれません。こういった場合にはなんらかのアクセス制限をかける必要があるわけなのですが、その設定と維持はあまり容易ではありません。また、Web サイトによくアクセスしているのはどの学生なのか、学生が頻繁に開いているページはどれなのか、と言ったことを調べるためには、なんらかの仕掛をあらかじめ施しておいたり、Web サーバのアクセスログを漁ったりする必要があります。

例えば Web の双方向性を利用して、教室外での議論とコミュニケーションの場を設けたいと考えた場合はどうでしょうか。一般に公開されている掲示板 CGI プログラムを設置するだけでも、学習すべき事は結構多くあります。また、学生の理解度をチェックするために Web 上に簡単なテストやアンケートを設置することも可能ですが、この設置と維持は Web サイト構築に慣れていない方にとってはそれ程簡単なことではありません。

WebCT は、Web を授業で活用するための様々な機能を提供し、教員の方々の労力を軽減します。WebCT を使うと、以下のような機能を持った Web ページを構築することができます。

- 文書・画像・映像・音声を含んだ教材の配布
- 小テスト・レポートによる学生の評価
- 検索可能な索引・用語集・画像データベースによる学習補助
- Web 上の教育資源の統合
- 学生が知識を強化する機会の提供
- 掲示板・電子メール・チャット・ホワイトボードによる学生との対話
- 成績管理
- オンライン成績表・自己診断テスト・進行状況チェックによる学生へのフィードバック
- 授業を評価するデータの収集

WebCT を授業に利用する

授業で WebCT を活用する方法は、十人十色さまざまに考えられます。一例を図に示します。予習→講義→復習のサイクルの各所で、WebCT を活用することができます。

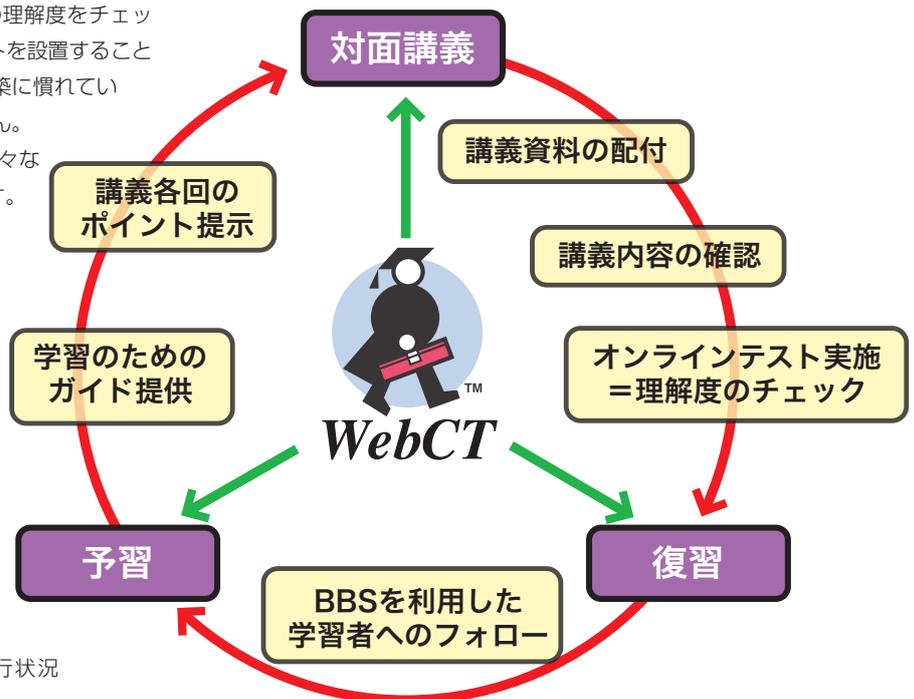
まず予習段階では、次回の講義のポイントを示し、予習ための参考資料を提示しておくことができます。講義の際に使う資料を事前に WebCT に提示しておき、印刷したものを学生に持参させるという方法はよく行なわれています。

コンピュータが利用できる教室では、講義中に WebCT に提示した資料を閲覧しながら授業を行なうこともできます。学生がコンピュータを利用できる教室はまだごく少数ですが、教官卓で WebCT の画面を提示しながら授業を行なうことは現在でも十分可能です。将来的には学生が持っている情報端末で各人が教材を閲覧しながら授業を行なうことが可能になるかもしれません。

講義終了後、小テストやセルフテストの実施により、学生の理解度をチェックすることができます。オンラインで行なう小テストは、学生は結果をすぐ知る事ができますし、教師からも学生の成績が即座に確認できます。

予習・復習の間を通して、BBS により質問を受けつけたり、学生間の議論を促したりと言った学習者へのフォローが行なえることも大きなメリットとなるでしょう。

これらの機能を学生と教官が積極的に利用することにより、従来ないがしろにされがちであった予復習の時間を有効に活用できるようにもなります。



第一回日本 WebCT ユーザカンファレンス
発表資料 (広島大学安武公一氏) より。



WebCT を利用するのに必要な環境

WebCT を利用するには、最低限以下の機能を持った Web ブラウザが必要です。

- JavaScript が利用できる
- フレームに対応している
- UTF-8 の表示が可能である
- SSL 通信ができる

現在一般に利用されているほとんどの Web ブラウザはこの条件を満たしています。

数式エディタ、チャット、ホワイトボードなどの機能は Java Applet で実装されていますが、これらはブラウザによっては機能しないことがあります。

この冊子について

この冊子では WebCT に初めて触れる方を想定して、上図に示す新規コーステンプレートに配置してある 5 つのアイコン(ツール)の基本的な使い方を、段階を追って説明しています。より詳しい利用方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

このコーステンプレートは 2005 年から広島大学で使っているものです。バックアップファイルを

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/webct/dinfo.html#template>

から取得してリストアする事で、この図の状態から始める事ができます。リストアするには、以下の手順に従って下さい。(以下の

手順に従うと、それ以前にコースに加えた変更はすべて破棄されるのでご注意ください)

1. 上記 URL より Template2005.zip を入手。
2. 「コントロールパネル」をクリック
3. 「コース管理」をクリック
4. 「コースをバックアップ」をクリック
5. 画面右の「バックアップをアップロード」をクリック
6. 1 で入手した Template2005.zip を選択しアップロード
7. バックアップファイルの一覧に Template2005.zip が表示されるので、左のラジオボタンをクリックして選択、画面右の「リストア」をクリック。このとき「リストア (学生を置換)」とするとそれまで登録してあった学生は登録解除されます。「リストア (学生の保持)」とすると学生の登録はそのままです。

WebCT へのログイン

WebCT システムの URL は

http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp/

です。この URL を Web ブラウザに入力すると、WebCT エントリーページ **1** が表示されます。2005 年 9 月現在は図のようになっていますが、ここには重要なお知らせが載る事がありますので注意してください。

「ログイン」をクリックすると WebCT ログインページ **2** に進みます。ここで WebCT ID とパスワードを正しく入力しないと次に進めません。ここには広大 ID と広大パスワード（「もみじ」を利用するときのもの）を入力してください。学生が WebCT を利用するときもやはり広大 ID とパスワードを使用します。

ログインが成功すると、各人専用の WebCT スタートページが表示されます。これを myWebCT **3** と呼んでいます。

myWebCT には、ログイン者が関係しているコースの一覧が表示されています。また、各コース名のところに「ニュース」としてそれぞれのコース内でおこったイベントがアイコン表示されます。例えば掲示板への書き込みがあるとか、学生であれば課題が出題されている、などのイベントです。受講しているコースがたくさんあっても、WebCT にログインして myWebCT まで表示させれば連絡事項などが一目で分かるようになっているのです。コース名をクリックすると、各コースのホームページへと移動します。

WebCT ホームページ

http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp:80/webct/public/home

WebCT ホームページ

ログイン ブラウザチェック ヘルプ

WebCT へようこそ 2005年9月8日

myWebCT に ログイン

ヘルプの表示
このサーバのコースを 表示

! ポップアップブロック機能により、WebCTが正常に動作しない場合があります。
テスト・アンケートを受ける前 に必ずチェック! → 詳細...

! 「課題」ツールでは、日本語の含まれたファイル名のファイルは提出できません。

WebCTにログインするためのIDとパスワードはわかりますか？

- 学部生→メディアセンターのログイン名とパスワードを利用します。
- 学部生以外
 - 2005年度以降の入学生→メディアセンターのログイン名とパスワードを利用します。
 - 2004年度以前の入学生→授業担当教官よりパスワードを受け取ってください

IDとパスワードについてのもう少し詳細な説明

Webブラウザの設定を確認しましょう

- 正しくログインできない→Javascript, Cookieは有効になっていますか？
- 小テストが受験できない→ポップアップブロック機能が有効になっていませんか？

WebCT にログイン

WebCT ID : momokara

パスワード : *****

ログイン

広大 ID と 広大パスワードを

追加の WebCT ID

広島大学の学生・教職員は、広大 ID と広大パスワードを使って WebCT を利用することができます。広大 ID とは「もみじ」を利用するときの ID です。

教員については、広大 ID 以外にも任意の名前で WebCT ID を作成することができます。追加の WebCT ID が必要な場合は、下記の情報を電子メールで <wbt-adm@riise.hiroshima-u.ac.jp> 宛にお送りください。

項目	例
氏名	芽出垂 太郎
所属	メディアセンター
広大 ID	78901234
電子メールアドレス	media@hiroshima-u.ac.jp
内線電話番号	7777
希望する WebCT ID	media

追加の WebCT ID は、コースを学生として試したい場合や、複数教員で担当する授業のコースを共有 ID で管理したい場合など必要に応じてご自由にお使いください。

パスワードの変更

myWebCT の画面上の方に「パスワード」というリンクがあります。センターに申請して独自 WebCTID を利用されている場合はここでパスワードの変更ができます。センターからお送りするパスワードは仮のものですから、各自で必ず変更してからご利用ください。

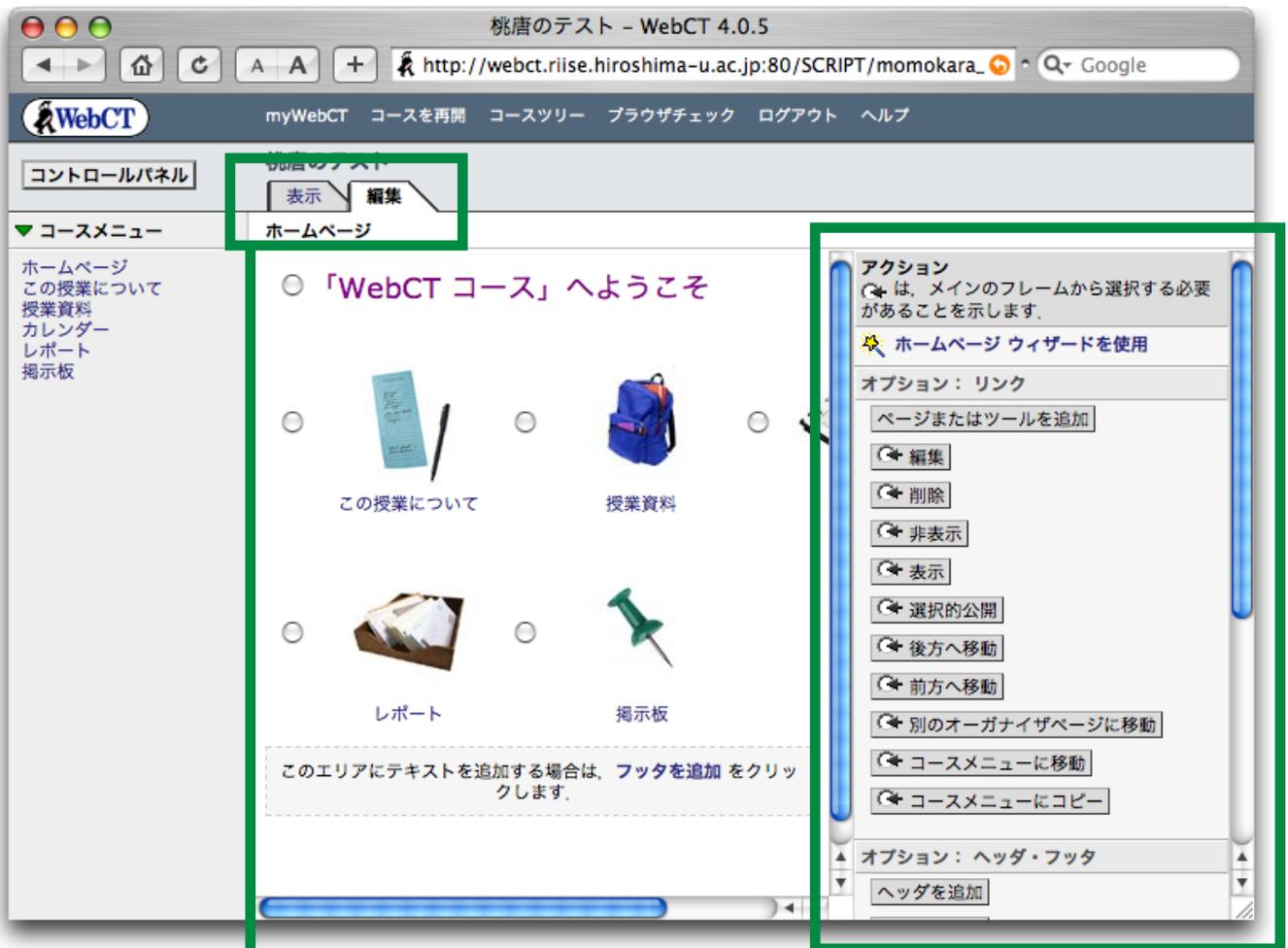
なお、広大 ID でログインした場合は、ここでパスワードを変更する事はできませんので注意が必要です。

コースホームページ

デザイナーモードとプレビュー

教師がコースホームページを開くと、図のような表示になっています。アイコンのところにはラジオボタンがついており、画面右側にはコースを設定するためのさまざまなコマンドが並んでいます。この状態はコースホームページを編集していくためのモードで、WebCTでは「デザイナーモード」と呼んでいます。画面上部に「表示」「編集」と書かれたタブが見えますね。デザイナーモードでは「編集」がアクティブになっています。

タブの「表示」をクリックするとプレビューモードに切り替わり、学生がコースホームページを見たときと同じような画面表示となります。この状態で学生とほぼ同様にコースホームページのさまざまな操作が可能です。



アクションメニュー



プレビュー

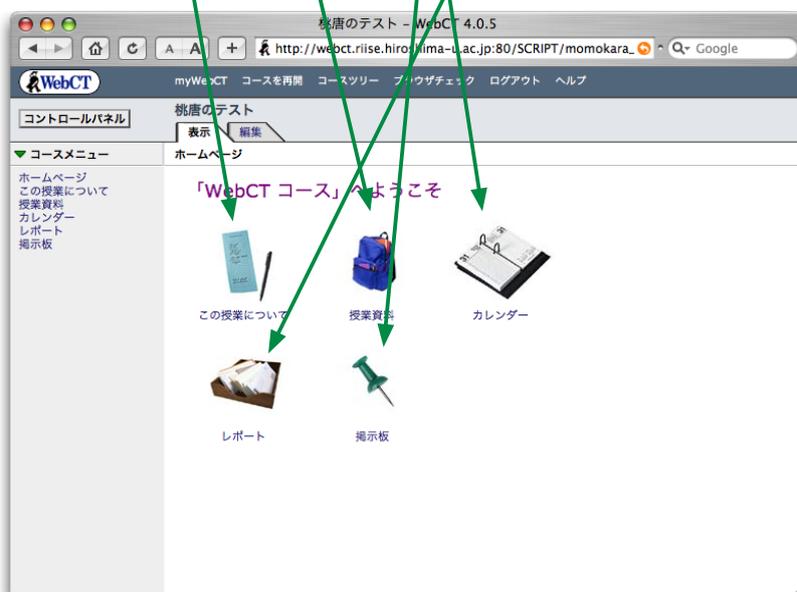
コースホームページの構成

大学の授業のホームページとして必要な機能を、WebCTは「ツール」として提供しています。WebCTが提供するツールには、下図のようなものがありますが、利用者はこの中から自分の必要なものを選びコースのホームページに配置していく事になります。

はじめてコースホームページを開いたときに5つのアイコンがありました。これらは図に示すようにあらかじめ配置された5つのWebCTツールを表しています。

WebCTでホームページを作っていく作業は必要なツールを選択して配置、設定するというように単純に言う事ができます。この設定作業には、WebCT外で作成したコンテンツファイルのリンクを作成する事等も含まれます。

ページ	コースコンテンツツール	コミュニケーションツール	評価・アクティビティツール	学生ツール
オーガナイザページ	シラバス	ディスカッション	テスト・アンケート	学習記録
シングルページ	コンテンツモジュール	メール	セルフテスト	成績表
URL	用語集	チャット	課題	言語選択
	画像データベース	ホワイトボード	学生プレゼンテーション	
	インデックス	カレンダー	学生ホームページ	
	コンテンツユーティリティ	学生ティップス		
	検索			
	コンパイル			
	コースを再開			
	CD-ROM			



プレビューモードも完全ではない

「プレビューモード」ではコースホームページのできばえを確認できますが、あくまでプレビューであり学生が操作するのと全く同一ではありません。例えば小テストの受験ができませんし、成績表ももちろん表示されません。WebCTに資料を掲載した時には「学生ビューの更新」をする事が必要で、これをしておかないと学生は資料を見られませんが、プレビューモードでは見えてしまいます。「XX月XX日以降」というように条件付けをしてコース内容の表示を調整できますが、この条件もプレビューモードでは機能しません。コースのできばえを確実に確認するためには、架空の学生をコースに登録しておき、そのIDでWebCTにログインすることが必要です。この目的のためには、教員用と架空学生用として二つのWebCT IDが必要になりますので、センターに追加 WebCT ID (7ページ囲み参照) を申請して下さい。

「この授業について」 -- シラバスツール

概要

シラバスツールは、授業の内容について図のような形式で学生に情報を提供します。提示される情報はセクションごとに管理され、すべて WebCT 上で入力する事になります。例では「インストラクタ情報」「講義内容」「教科書」の三つのセクションがありますが、セクションの数は任意に増減できます。

The screenshot shows a web browser window with the URL http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp:80/SCRIPT/momokara_. The page title is '教育学 1' and the page content is 'この授業について' (About this course). The main content area is titled 'シラバス' (Syllabus) and contains three sections:

- インストラクタ情報** (Instructor Information):
 - 名前: 桃唐 太郎
 - 電子メール: momokara@hiroshima-u.ac.jp
 - オフィスの場所: メディアセンター
 - 業務時間: 金曜 13:00-17:00
 - 電話: 内線 XXXX
 - TA: 犬神 猿田 雉子
- 講義内容** (Lecture Content):
 - 日付: 2005年10月1日土曜日
 - 目的または目標:
 - 教育学が対象とする5つの分野をあげる事ができる。
 - そのそれぞれについて簡潔な説明ができる。
- 教科書** (Textbook):
 - 必須図書: 教育学への招待, 赤堀侃司, ジャストシステム, 2002年

A green bracket on the right side of the page groups these three sections under the label 'セクション' (Section).

セクションの編集

1. デザイナモード（「編集」タブがアクティブ）になっている事を確認します。
2. 「この授業について」のアイコンをクリックします
3. あらかじめ二つのセクションが配置してあります。「インストラクタ情報」のセクションを編集することにしましよう。
4. 「インストラクタ情報」の左にあるラジオボタンを選択し、アクションメニューの「編集」をクリックします。
5. 「インストラクタ情報」のための情報入力フォーマットが表示されます。必要な情報を記入してください。
6. 画面最下部の「更新」をクリックします。
7. 表示タブをクリックし、記入した内容を確認します。



セクションの追加と削除

「コース情報」「インストラクタ情報」「コース目標」「講義方針」「教科書」「受講条件」「講義内容」の7つのセクションはあらかじめフォーマットが定義されています。これらに当てはまらない情報を追加したい場合は「カスタム」という種類のセクションを追加します。

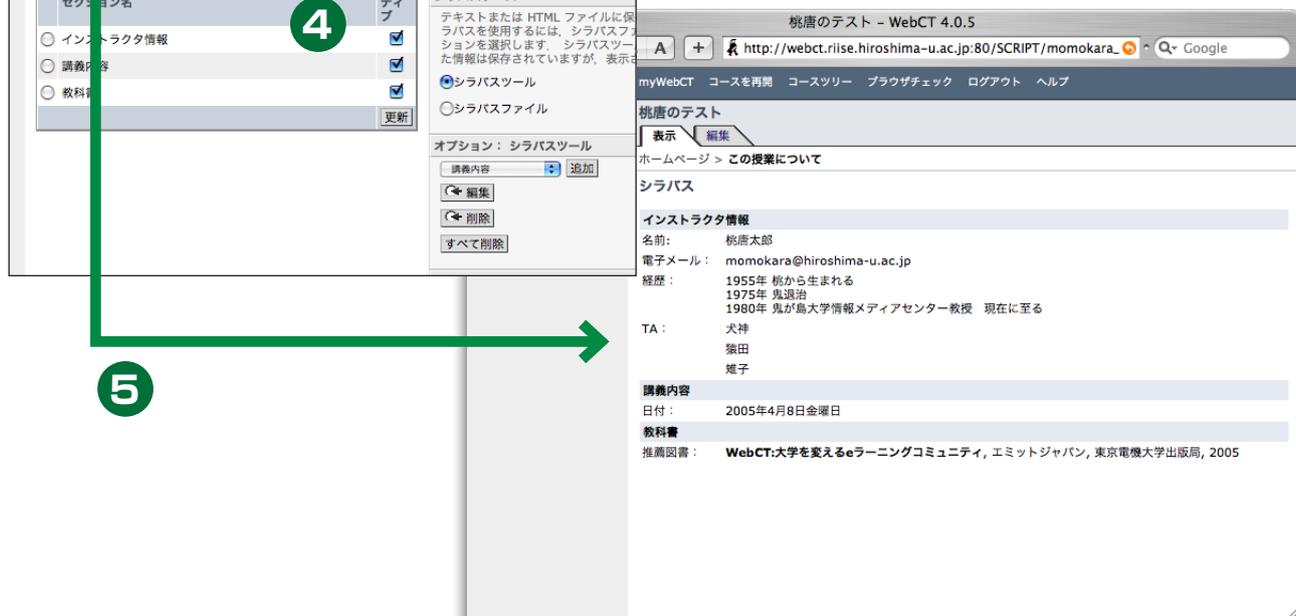
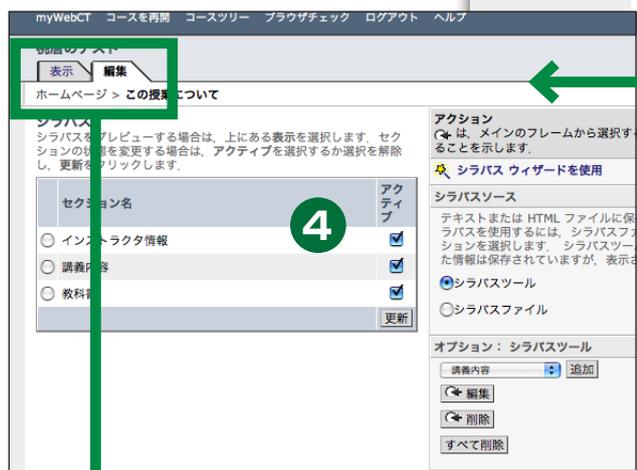
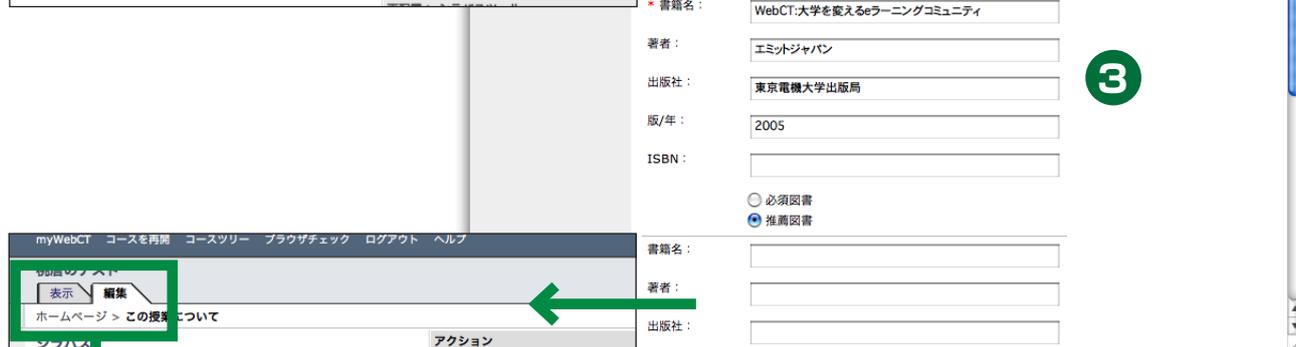
「教科書」のセクションを追加してみましょう。

1. 編集タブをクリックしデザイナーモードにします
2. アクションメニューの「オプション：シラバスツール」の下にあるポップアップメニューをクリックし、「教科書」を選びます。「追加」をクリックします。



3. 「教科書」のための情報入力フォーマットが表示されます。必要な情報を記入してください。
4. 画面最下部の「更新」をクリックします。表でセクションの数が増えている事が確認できます。
5. 表示タブをクリックし、追加した内容を確認します。

セクションを削除するには、削除したいセクションを選択し、アクションメニューの「削除」をクリックします。表の右側のチェックを外して「更新」をクリックすると、セクションを削除はしません。学生から見えなくなります。



フォーマット：テキスト？HTML？

セクション内容を記入するところで「フォーマット」を選ぶようになっており、初期の状態では「HTML」が選択されています。HTML(=Hyper Text Markup Language)はWebページを記述するのに使われるフォーマットです。もちろん「テキスト」よりもいろいろな種類の表現ができます。

「テキスト」と「HTML」でどんな違いが出てくるのか、というのが気になりますが、最初に引かかるのが空白と改行の扱いです。HTMLでは連続する(半角の)空白文字は一つの空白文字と見なされ、改行文字は空白文字と同様に扱われます。電子メールでよくやるように空白と改行による整形をしても無意味です。一方テキストフォーマットでは、入力した改行や空白はそのまま表示されます。

逆にテキストフォーマットの場合は、入力時に明示的に改行文字を入れないと表示の際に全く改行されませんので、長めの文章を入れた場合にちょっと困ります。HTMLではブラウザのウィンドウ幅に応じて適切に行の折り返しがなされます。が、改行して段落を変えたつもりでも実際は連なって表示されます。帯に短し襷に長し。どうすればいいかというと、HTMLフォーマットで適切なタグを入れるか、テキストフォーマットで適当に改行を入れるかのどちらかになります。図ではHTMLフォーマットで段落の境目に<p>タグを入れた場合のプレビューを示しています。(このHTMLの書き方は実は少ししい加減です。正しい書き方については、別の参考書をご覧ください)

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

フォーマット： テキスト HTML

講義内容

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

教科書

推薦図書： WebCT:大学を変えるeラーニングコミュニティ, エミットジャパン, 東京電機大学出版局, 2005

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

フォーマット： テキスト HTML

講義内容

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

教科書

推薦図書： WebCT:大学を変えるeラーニングコミュニティ, エミットジャパン, 東京電機大学出版局, 2005

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。<p>また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

フォーマット： テキスト HTML

講義内容

課題： 小学校中学校高校と数限りなく授業を受けてきたはずだが、そのなかで強く印象に残っている授業はどんなものだったか、そしてそれはなぜかを考察しましょう。逆に印象に残らない授業についても考察しましょう。また、印象に残った授業は「わかりやすい」授業だったでしょうか？

教科書

推薦図書： WebCT:大学を変えるeラーニングコミュニティ, エミットジャパン, 東京電機大学出版局, 2005

「授業資料」 -- コンテンツモジュールツール

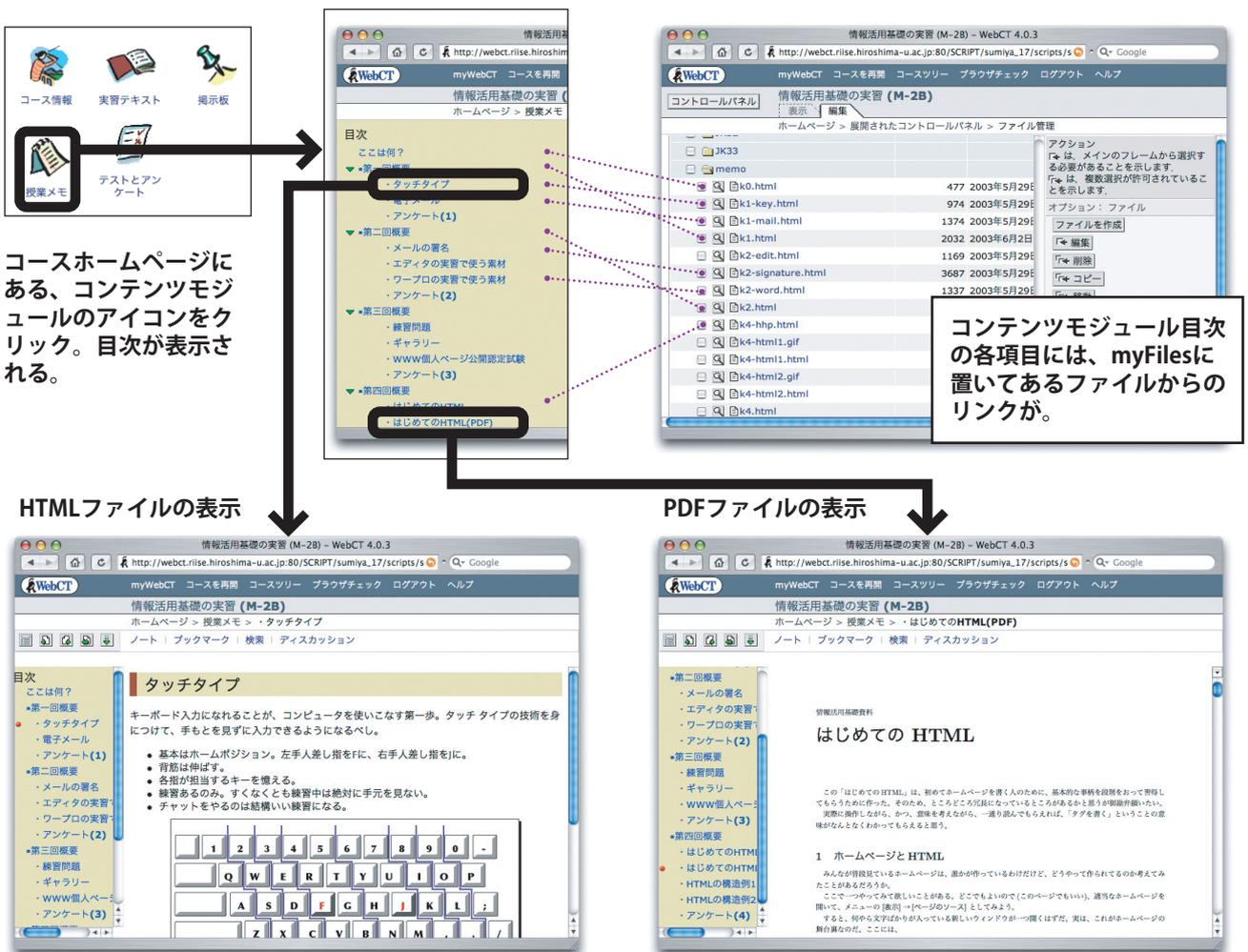
概要

コンテンツモジュールは、教材となるファイルを学生に提示するためのツールです。下図のように目次を作成し、目次の各項目に一つのファイルに対応させる（リンクをはる）ことにより、教材ファイルを体系だてて提示します。また、後述する小テストを目次の一項目として割り当てる事もできますので、練習問題まで含んだ小さなテキストブックとして構成する事が可能です。

教材となる電子ファイルの形式は、学習者が閲覧可能なものであれば何でも構いません。Office 書類など特定アプリケーションの書類であっても、学生がそれを使える事が確実にわかっているれば利用できます。機能を考えるとHTML形式がもっとも望ましいですが、教材ファイルをHTMLで揃えるにはそれなりの労力がかかります。

HTML ファイルを公開しただけであれば、通常の WWW サーバだけで事足ります。わざわざ WebCT のようなコース管理システムを使う理由の一つとして、学生の学習進捗状況を管理する機能が上げられます。

WebCT では、コンテンツモジュールの目次の項目ごとに、何回ほど参照されたかを調べる事ができます。この機能をページトラッキングと呼んでいます。また、ある学生に注目し、その学生がどのページをいつ参照したのかを調べる事もできます。この機能は学生トラッキングと呼ばれています。



PC 上のファイルを目次に追加する

ここでは PC に保存してある PDF ファイルを WebCT にアップロードし、目次に追加する方法を説明します。

1. コースホームページで「授業資料」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. 目次に追加できる項目は、ラベルとファイルへのリンクと小テストへのリンクの三種類です。あらかじめ「第1週」～「第15週」までの文字が目次にラベルとして追加してあります。
4. 「第1週」の下に入れる事にしましょう。「第1週」のラジオ

ボタンを選択します。

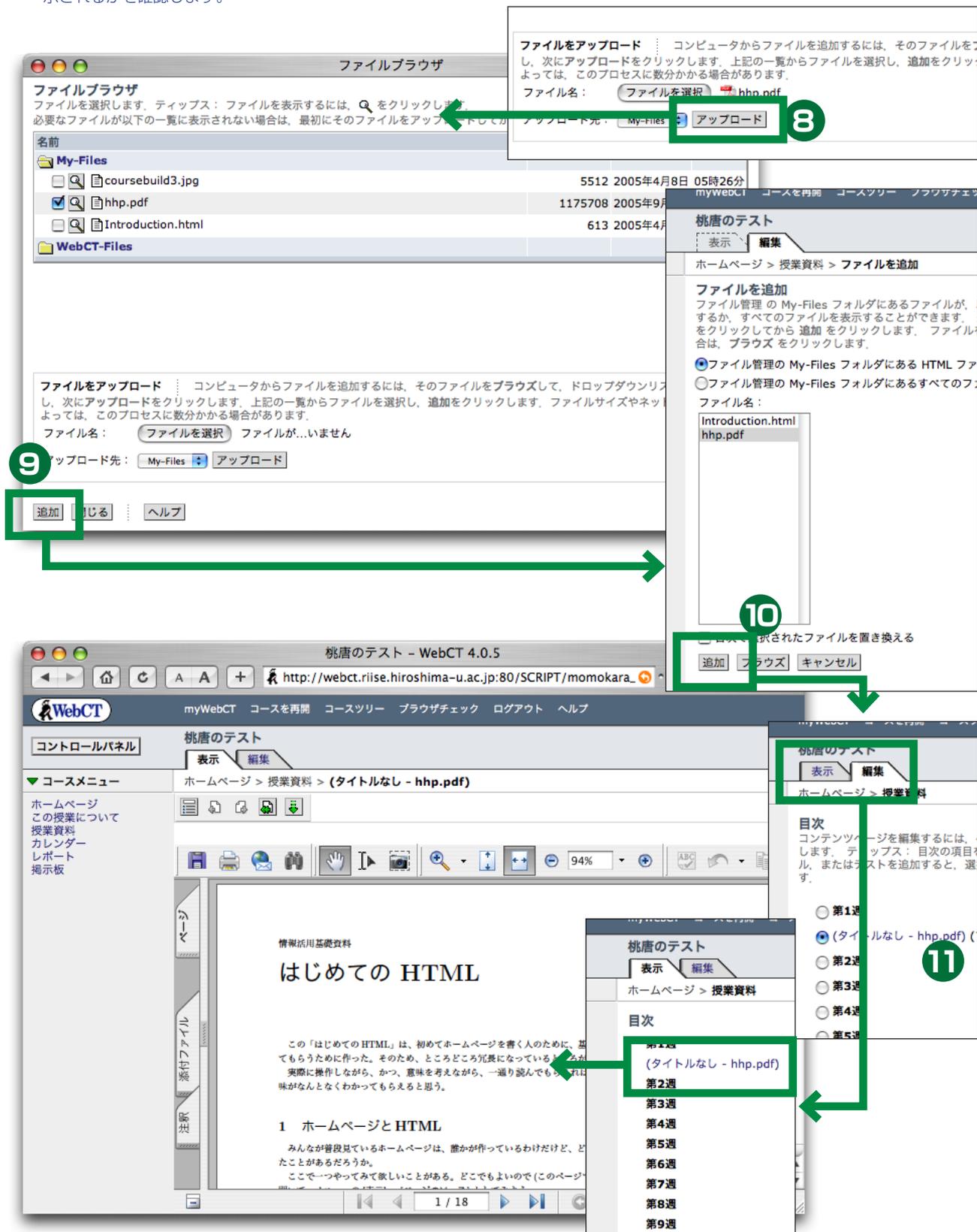
5. アクションメニューの「オプション：目次」から「ファイルを追加」をクリックします。
6. 追加するファイルを選ぶ画面になります。この画面に出ているのは、すでに WebCT にアップロード済みのファイルです。はりつけるファイルはまだアップロードしてなくてここには出ていませんので、「ブラウズ」をクリックします。
7. 「ファイルブラウザ」ウィンドウが開きます。「ファイルを選択」をクリックすると、PC 上のファイルを選択する画面になりますので、アップロードしたいファイルを選びます。この部分は機種によってそれぞれ異なります。

The screenshot shows the WebCT 4.0.5 interface. The main window displays the course menu with a list of weeks (第1週 to 第13週). A green box highlights the '第1週' radio button, labeled with a green circle '4'. To the right, the 'アクション' (Action) menu is open, and a green box highlights the 'ファイルを追加' (Add File) button, labeled with a green circle '5'. Below the main window, a 'ファイルを追加' (Add File) dialog box is shown, with a green box highlighting the 'ブラウズ' (Browse) button, labeled with a green circle '6'. Below that, a 'ファイルブラウザ' (File Browser) window is shown, with a green box highlighting the 'ファイルを選択' (Select File) button, labeled with a green circle '7'. A green arrow points from the 'ブラウズ' button in the dialog box to the 'ファイルブラウザ' window. At the bottom right, a green arrow points to the text '次のページへ' (Next Page).

8. ファイルを選択したら、「アップロード」ボタンをクリックします。
9. アップロードが無事終わると、そのファイルが選択された状態になります。「追加」をクリック
10. さらに「追加」をクリック
11. 目次に追加された事が確認できます。表示タブをクリックし、目次の該当場所をクリックしてどのように教材ファイルが提示されるかを確認します。

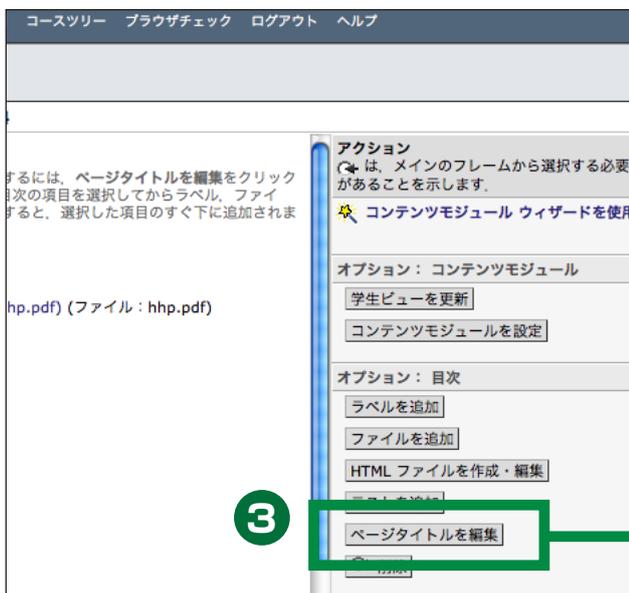
コンテンツモジュールを改変した場合は、「学生ビューの更新」(18 ページ) をする必要がありますので注意してください。

アップロードしたファイルは PDF だったため、「タイトルなし」となりました。また、PDF 表示用のプラグインが入っているため、PDF がブラウザ内で表示されていましたが、学生の利用環境によっては PDF をダウンロードしてから開こうとするかもしれません。Office の書類でも同様です。



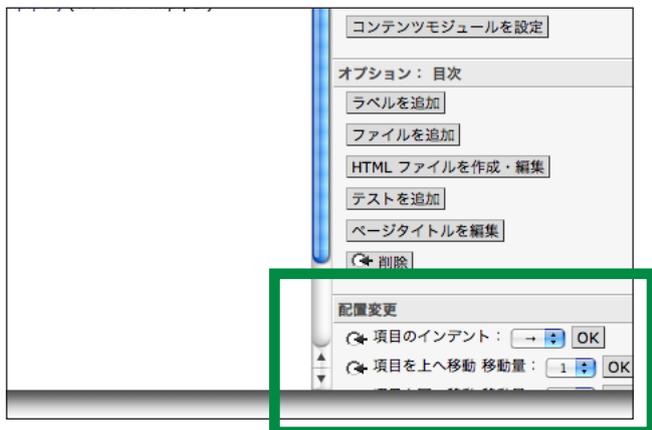
目次項目名の変更

1. コースホームページで「授業資料」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. アクションメニューの「オプション：目次」から「ページタイトルを編集」をクリックします。
4. 図のように、すべての目次項目を変更できる画面になります。必要に応じて変更し、画面最下部の「更新」ボタンをクリックします。



目次項目の順序変更、グルーピング

1. コースホームページで「授業資料」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. まず、移動したい目次項目を選択します。
4. アクションメニューの「配置変更」から「項目を上へ移動」「項目を下へ移動」を使い、順序を変更します。
5. グルーピングを変更するには「項目のインデント」を使います。



目次

コンテンツページを編集するには、ページタイトルを編集をクリックします。ティップス：目次の項目を選択してからラベル、ファイル、またはテストを追加すると、選択した項目のすぐ下に追加されます。

- 第1週
- はじめてのHTML (PDFファイル) (ファイル: hhp.pdf)
- 第2週
- 第3週

↓ 項目のグルーピング (インデント)

目次

コンテンツページを編集するには、ページタイトルを編集をクリックします。ティップス：目次の項目を選択してからラベル、ファイル、またはテストを追加すると、選択した項目のすぐ下に追加されます。

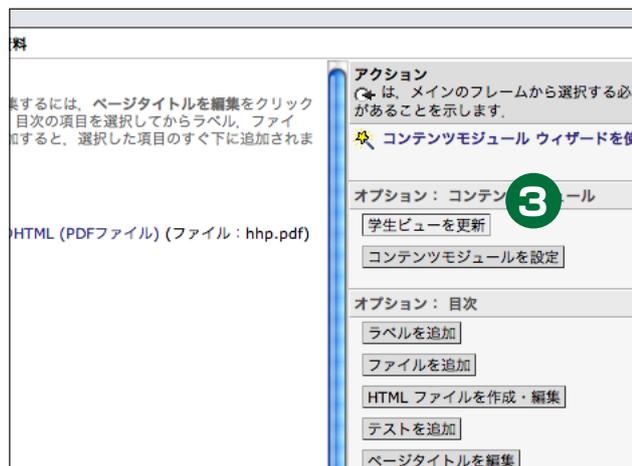
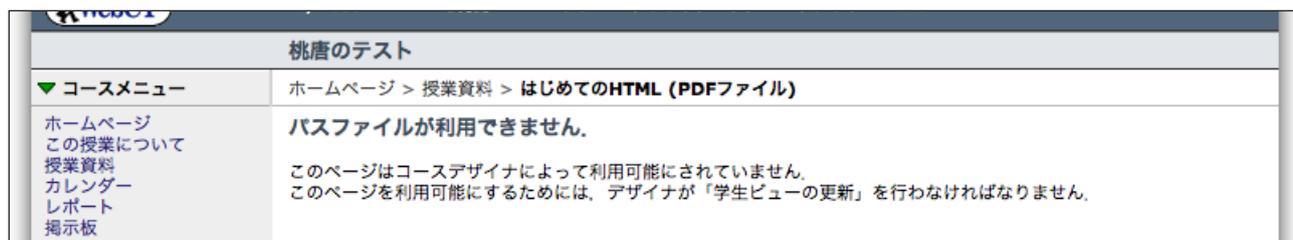
- ▼ 第1週
 - はじめてのHTML (PDFファイル) (ファイル: hhp.pdf)
 - 第2週
 - 第3週

学生ビューの更新

授業資料の内容を更新した場合は「学生ビューの更新」という作業をしないと学生に見えません。これをしたかしていないかは、デザイナーモードではよくわかりませんので、注意して下さい。「学生ビューの更新」をしていない項目を学生が開こうとした場合、下図のように「デザイナーによって利用可能にされていません」というメッセージが表示されます。

学生ビューを更新するには、次のようにします。

1. コースホームページで「授業資料」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. アクションメニューの「オプション：コンテンツモジュール」から「学生ビューの更新」をクリックします
4. 画面が図のように切り替わりますので、「コース全体を更新」を選んで「更新」をクリックします。(数分かかりますと書いてありますが実際には数秒で終了するはず)



目次項目の削除

1. コースホームページで「授業資料」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. 削除したい目次項目を選択します。
4. アクションメニューの「オプション:目次」から「削除」をクリックします。
5. 警告パネルで確認すると、目次項目が削除されます。リンクされているファイル自身は削除されません。

閲覧履歴の照会

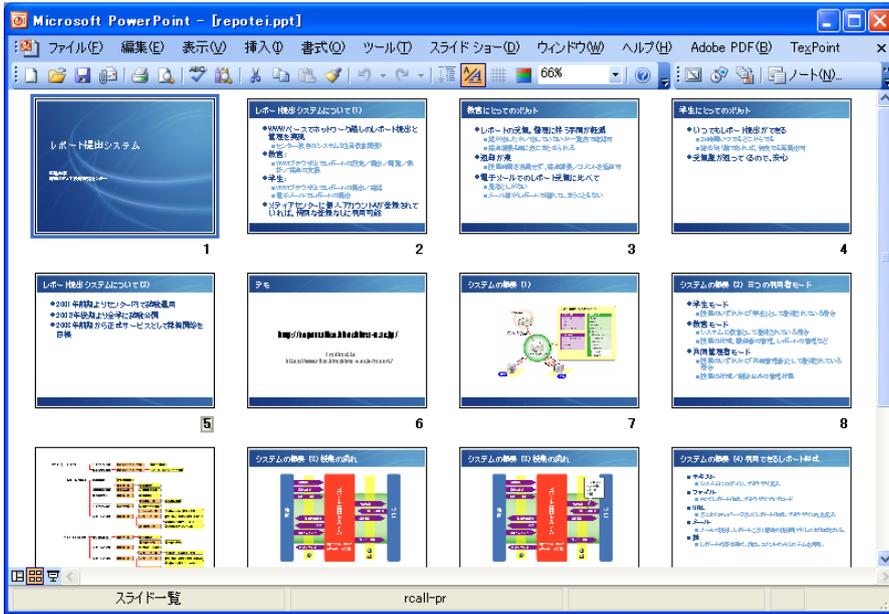
WebCTはコンテンツモジュールの目次項目毎に閲覧履歴を保存しています。

1. 「コントロールパネル」をクリック
2. 「コース管理」をクリック
3. 「ページトラッキング」をクリック
4. 図のような形式で、どのページがどれだけ閲覧されたかが表示されます。これがページトラッキングです。

5. 表のタイトル部分をクリックするとその項目でソートされます
6. ブレッドクラムの「コース管理」をクリックし、一段階戻ります
7. 「学生トラッキング」をクリックします
8. どの学生がいつアクセスし、いくつの目次項目を開いたかが表示されます。
9. 学生の名前をクリックすると、さらに詳細な情報が表示され、さらに「訪問済みコンテンツページの履歴を表示」とするといつどの順序でアクセスしたかが表示されます。

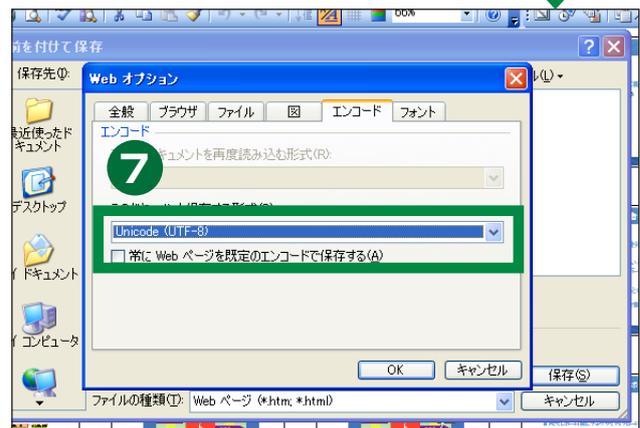
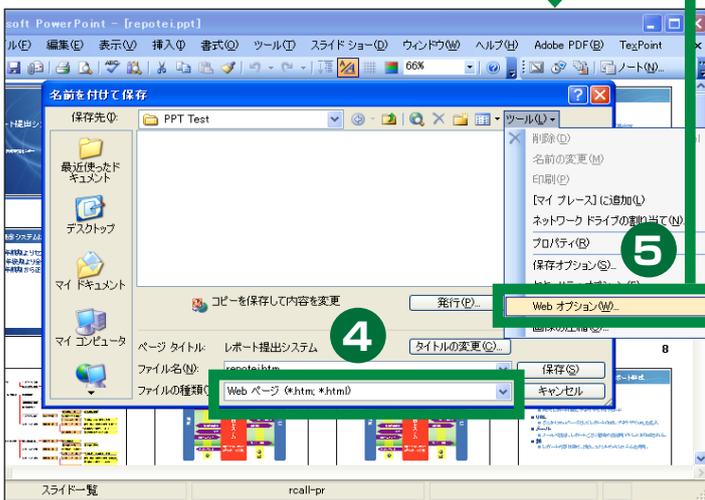
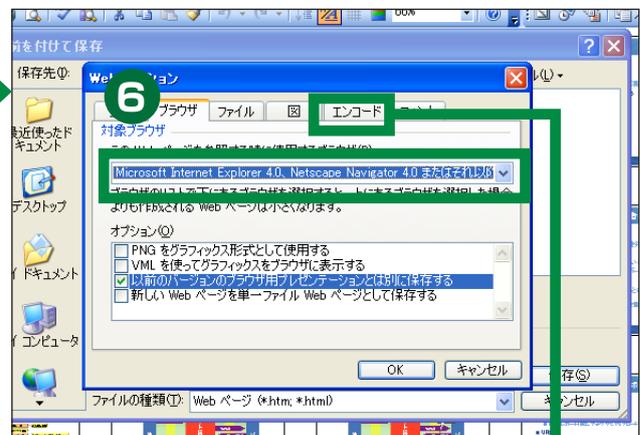


PowerPoint の HTML ファイルを使う (HTML の書き出しと WebCT へのアップロード)



PowerPoint にはスライドを Web ページとして (HTML 形式で) 保存する機能がありますが、初期設定のまま使うと WebCT にアップロードしたときに正常に表示できません。この機能を使う場合は、下記のようにします。ポイントは、できるだけ互換性が高く (いろんな種類の Web ブラウザで表示できる) なるようにすることです。

1. 処理したいスライドを開きます
2. メニューの「ファイル」→「Web ページとして保存」を実行します
3. 「名前を付けて保存」パネルが表示されます。
4. ファイルの種類として「単一ファイル Web ページ」と「Web ページ」を選んでください。
5. パネル右上の「ツール」をクリックし、「Web オプション」を選択します
6. 「ブラウザ」タブをクリックし、対象ブラウザとして「Microsoft Internet Explorer 4.0, Netscape Navigator 4.0 またはそれ以降」を選択します。
7. 「エンコード」タブをクリックし、保存形式として「Unicode (UTF-8)」を選択します。
8. 「OK」ボタンをクリックし、Web オプションパネルを閉じます。
9. 「保存」ボタンをクリックすると、スライドが HTML 形式で保存されます。





保存されたものは、一つのファイルではありません。Expolrer で見てみると、～.htm というファイルと、～.files というフォルダができています。～.files フォルダの中をのぞくととてもたくさんのファイルがあります。

これらのファイルを全て WebCT に持っていかなくてはなりません。一つずつアップロードしていたのでは日が暮れますので、圧縮フォルダ (Zip アーカイブ) を使って一つのファイルとしてまとめてやる必要があります。

10. PowerPoint が作ったファイルとフォルダを選ぶ。図では repotei.htm と repotei.files の二つ。二つのアイコンを選択状態にするには、Control キーを押しながら二つのファイルをクリックすれば良いです。

11. メニューの「ファイル」→「送る」→「圧縮 (zip 形式) フォルダ」を実行

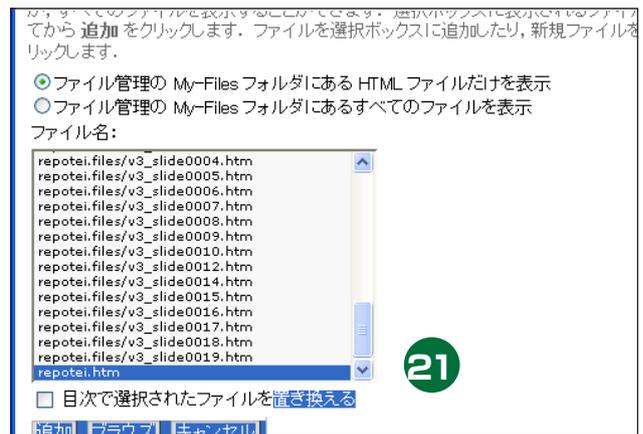
12. repotei.zip というファイルができる。

できた zip ファイルを WebCT へアップロードし、WebCT 側で展開 (伸長、解凍) します。

13. 「コントロールパネル」をクリックし、「ファイル管理」を選びます。

14. アクションメニューの「オプション: ファイル」より「アップロード」を選びます。

15. 「参照」をクリックし先ほどのファ



イル (repotei.zip) を選びます。

16. 「アップロード」をクリックします。

17. repotei.zip がリストに表示されます。左側のチェックボックスをチェックし、アクションメニューの「オプション: ファイル」より「Unzip」をクリックします。

18. アップロードしたファイルが展開され、repotei.htm と repotei.files フォルダができました。

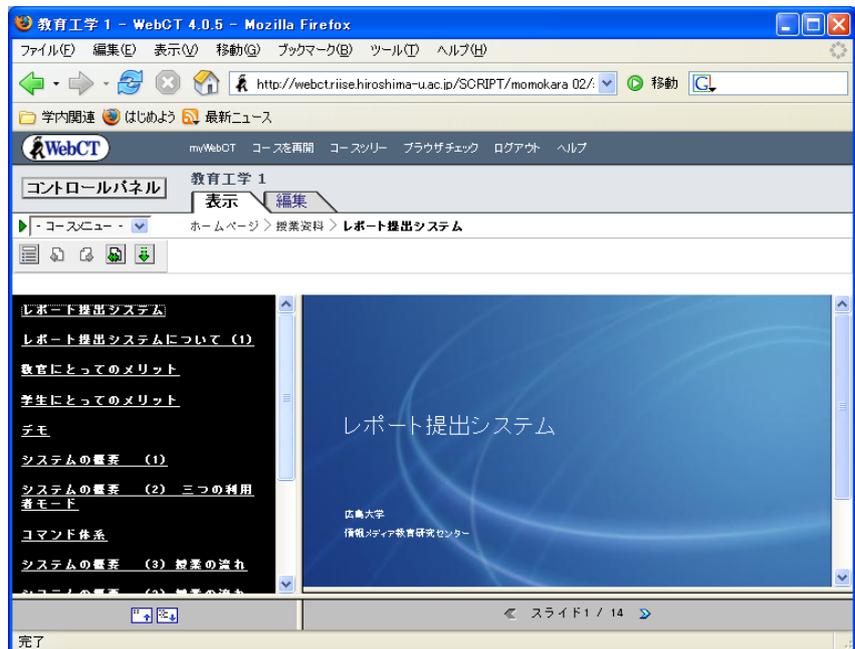
コンテンツモジュールの項目として～.htm を指定してあげればできあがりです。

19. コースホームページで授業資料のアイコンをクリックします。デザイナーモードになっていますね？

20. アクションメニューの「オプション: 目次」より「ファイルを追加」を選びます。

21. スライドの枚数×2 の HTML ファイルができていますのでリストが長くなりますが、さきほどの repotei.htm を探して選択状態とし、「追加」をクリックします。

22. コンテンツモジュールの項目として追加されました。レビューモードで表示を確認します。



「カレンダー」 -- カレンダーツール

概要

カレンダーでは授業に関連する用件を記入して公開できます。myWebCTにある「グローバルカレンダー」を使うと、学生は自分が関係しているコースの用件をまとめて確認することができます。

カレンダー項目（エントリ）の追加

1. コースホームページで「カレンダー」をクリックします。エントリの追加はデザイナーモードでもプレビューモードでもどちらでもできます。
2. 必要な事項を書き込みます
3. アクセスレベルを選択します。「公開」を選んでおかないと学生から見えません。
4. 「追加」をクリック

myWebCT

http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp:80/webct/homearea/global_ca... Google

WebCT myWebCT > グローバルカレンダー エントリページ ログアウト ヘルプ

2005年9月 先月 来月

日付: 9 2005 表示: カスタマイズされたコース一覧 OK エントリを追加 カスタマイズ エントリをコンパイル

その日のスケジュールを表示、追加、または編集するには、以下の日付のハイパーリンクをクリックします。

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
週を表示					1	2	3
週を表示	4	5	6	7	8	9 - 今日 -WebCT講習会	10
週を表示	11	12	13	14	15	16	17
週を表示	18	19	20	21	22	23	24
週を表示	25	26	27	28	29	30	

注意: プライベートエントリはすべて太字になっています。

「レポート」 -- 課題ツール

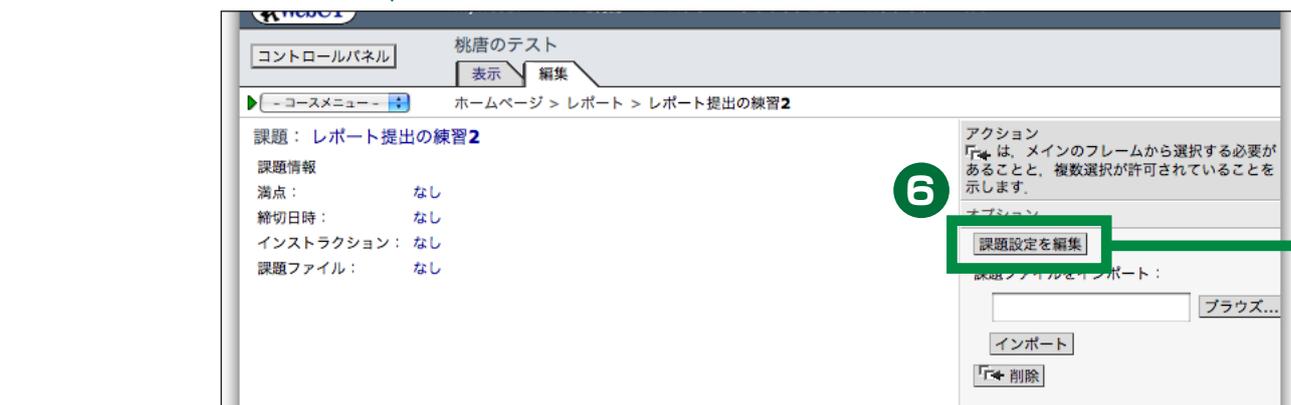
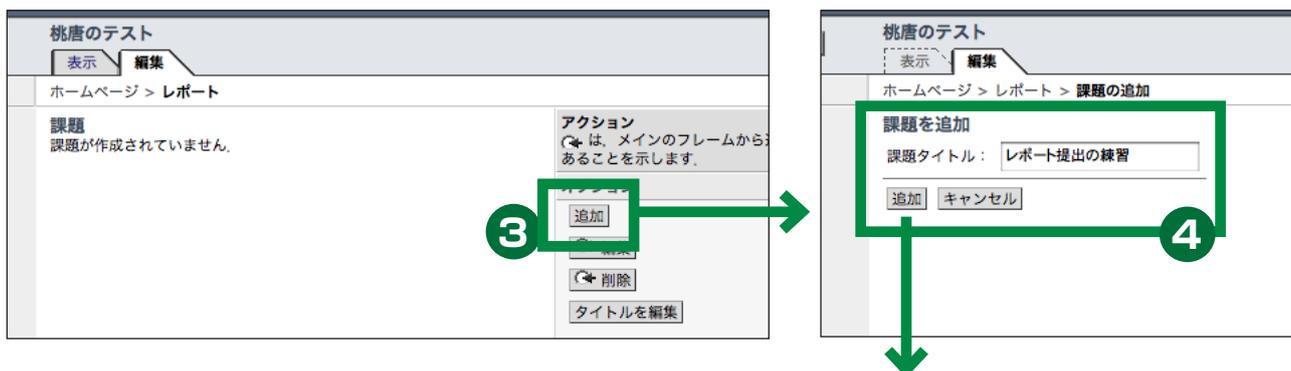
概要

学生は電子ファイルとしてレポートを作成し、WebCTで提出します。教員は提出されたファイルを閲覧し、採点をします。採点結果を学生に見せる事もできますし、隠しておく事もできます。

課題を作成する

1. コースホームページで「レポート」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. アクションメニューの「オプション」から「追加」をクリックします
4. 課題のタイトルを記入し、「追加」をクリックします
5. このようになりますが、まだタイトルがついているだけです。課題の設定をするため、課題タイトルをクリックします

6. アクションメニューから「課題設定を編集」をクリックします。
7. 赤いアスタリスクでマークしてあるところは入力必須の項目です。まず「インストラクション」を入れます。学生に対する課題の内容説明文です。これで足りない場合は課題をファイルとして作成し添付ファイルとします。
8. 「満点」の欄に最大得点を入れましょう。
9. 開始日と締め切り日を確認してください。締め切り日は初期状態では現在時刻になっているので、注意が必要です
10. 図を参考にして他のオプションを確認します
11. 「更新」をクリック。これで出来上がりです。



桃唐のテスト - WebCT 4.0.5
http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp:80/SCRIPT/momokara_01/scrip

myWebCT コースを再開 コースツリー ブラウザチェック ログアウト ヘルプ

コントロールパネル 桃唐のテスト
表示 編集

ホームメニュー ホームページ > レポート > レポート提出の練習 > 課題設定

課題設定: レポート提出の練習

基本設定

*タイトル: レポート提出の練習

*インストラクション: ペイントブラシでJPGの画像を一枚作成し、WebCTを使って提出しなさい。
7

*満点: 100
8

期間

開始日時: 今すぐ開始
 日時を指定
9 8 2005 12 00

締切日時: 無制限
 日時を指定
9 8 2005 12 00
9

打ち切日時: 締切後提出を許可しない
 締切後提出を許可
 無制限
 日時を指定
9 9 2005 11 00

通知

学生に通知: メールで通知
 知らせない

インストラクタに通知: 学生が課題を提出したらインストラクタに通知する
インストラクターのメールアドレス:
 知らせない

答案

複数回課題を提出: 複数回課題の提出を許可 (採点は提出期限まで行われません)
 複数回課題の提出を許可しない

結果

学生に結果を通知: 課題を採点し次第、結果を通知
 有効期限が切れ、かつ課題を採点し次第、結果を通知
 結果を通知しない

カラムを公開: 課題カラムを公開して、学生が成績表ツールで自分の成績を見ることができます。このカラムの公開は、学生管理ページからコントロールすることもできます。(コース管理 > 学生管理 を参照。)
 はい いいえ

更新 キャンセル

*必須フィールド

レポート提出された際に、WebCTから確認のメールを学生に送る

許可すると閲覧も採点も締切までできない。

学生の課題タイトル一覧画面で、得点が表示されるようになる。

桃唐のテスト

コントロールパネル 表示 編集

ホームメニュー ホームページ > レポート > レポート提出の練習

課題: レポート提出の練習

課題情報

満点: 100

締切日時: 2005年9月9日

インストラクション: ペイントブラシでJPGの画像を一枚作成し、WebCTを使って提出しなさい。

課題ファイル: なし

アクション
「」は、メインのフレームから選択する必要があります。複数選択が許可されていることを示します。

オプション

課題設定を編集

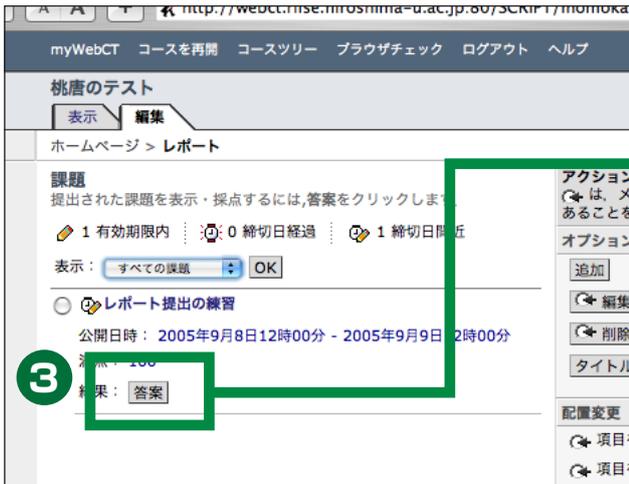
課題ファイルをインポート:
 ブラウズ...

インポート

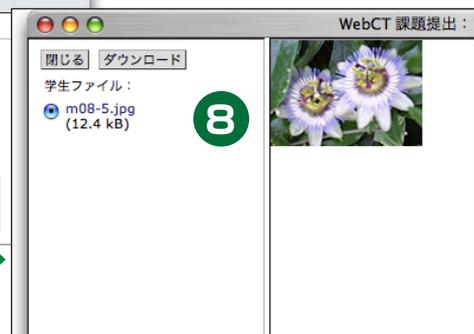
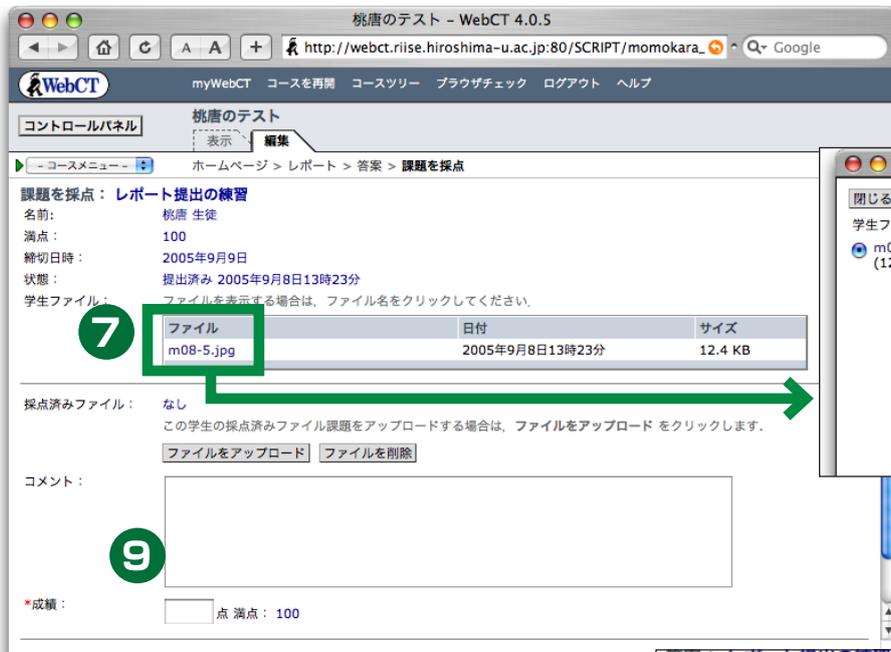
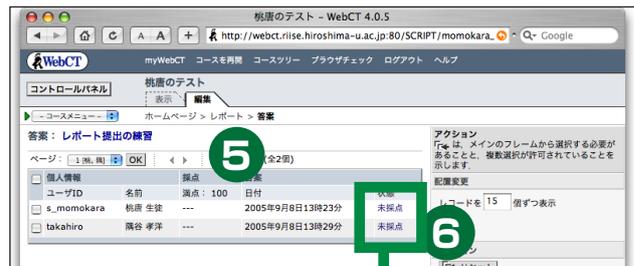
削除

レポートを閲覧、採点する

1. コースホームページで「レポート」をクリックします
2. デザイナーモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. 課題タイトルの下に「答案」というボタンがあるので、これをクリックします。
4. 学生の一覧が表示されます。少し横幅が狭いのでコースメニューをたたんでおきましょう。「コースメニュー」の左の三角をクリックします。
5. 学生の一覧表には、レポートを提出した日時が表示されています。



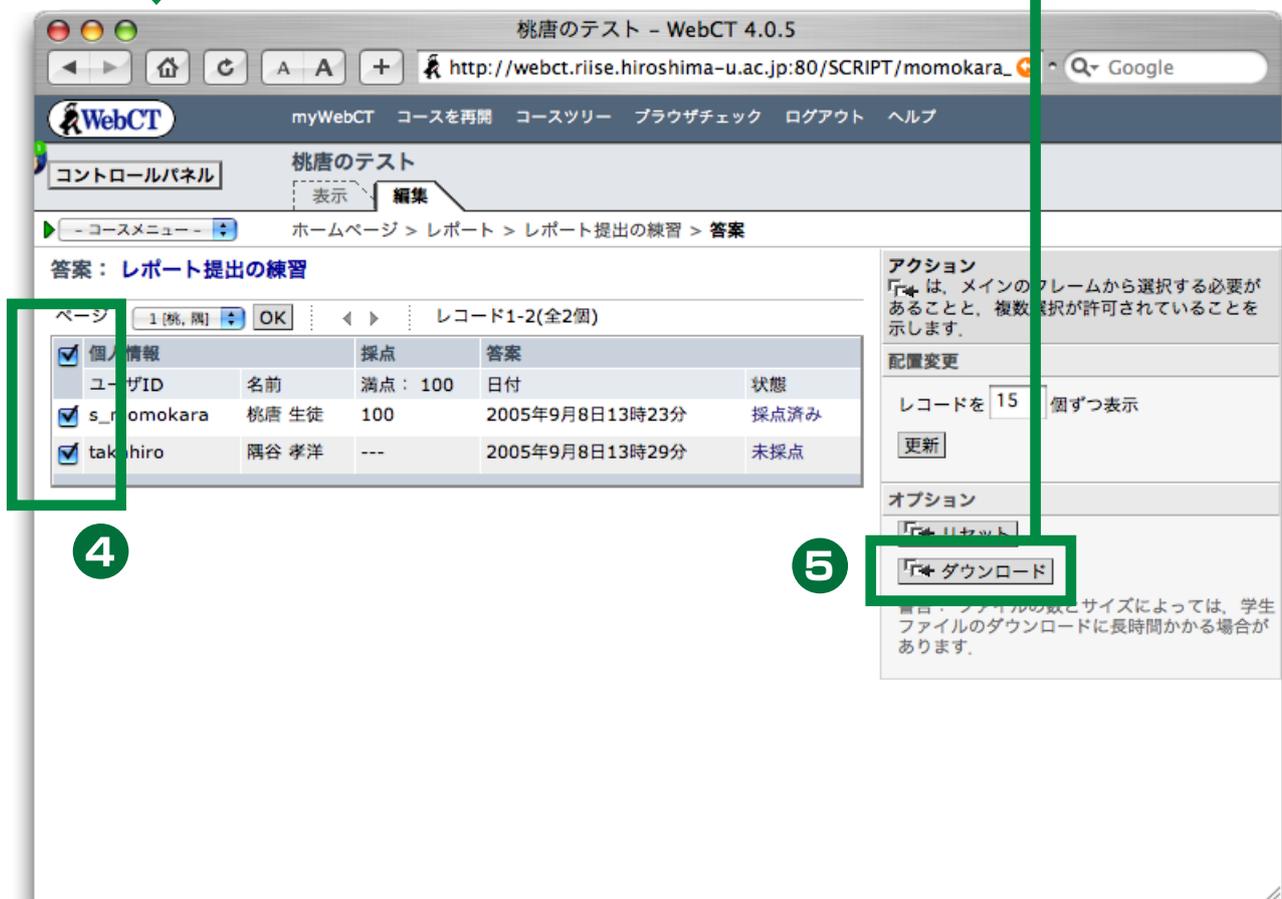
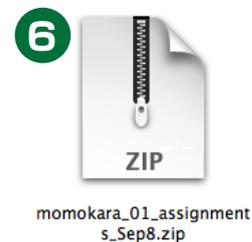
6. 提出されたレポートを確認するには、「状態」欄の「未採点」をクリックします。
7. ファイル名をクリックすると、学生の提出物を閲覧するためのウィンドウが開きます。
8. 学生ファイルの名前をクリックすると、ファイルの内容を見る事になる訳ですが、提出された電子ファイルの開き方は、電子ファイルの形式と各先生方の PC の環境により大きく異なります。この例の場合は JPG ファイルですので、画像が右側のフレームに表示されます。
9. コメント、点数を記入し、「採点」をクリックします。
10. 学生リストに変更が反映されました。



学生の提出ファイルを一括ダウンロード

学生の提出物をまとめてお手持の PC にダウンロードできます。その際、各学生の WebCT ID 名のフォルダに提出物（一つまたは複数の電子ファイルからなります）がおさめられています。教師はこれを見ながら WebCT で点数を記入します。

1. コースホームページで「レポート」をクリックします
2. デザイナモードになっていなければ、「編集タブ」をクリックします
3. 課題タイトル下に「答案」というボタンがあるので、これをクリックします。
4. 学生リストのユーザ ID 左のチェックボックスにチェックを入れます。一番上のチェックボックスを操作すると、学生全員のチェックボックスを一度にオン/オフできます。
5. 「ダウンロード」をクリックします
6. "コース ID_assignments_日付.zip" なる名称のファイルがお手持の PC にダウンロードされます。zip 圧縮されているので、Windows であれば右クリック→「すべて展開」で展開できます。



一括して点数入力する

課題ツールで採点した結果は、「学生管理」で一覧できるように
なっています。この画面から点数を記入する事もできます。

1. コントロールパネルをクリックします
2. 「コース管理」をクリックします。
3. 「学生管理」をクリックします。
4. まとめて採点をしたいカラムの「編集」をクリックします。
5. 図のように一括して点数を入れられるようになります。点数
を記入し「更新」をクリックします。

The screenshots illustrate the process of entering scores for multiple students in the WebCT system. The first screenshot shows the 'コントロールパネル' (Control Panel) being selected. The second screenshot shows the 'コース管理' (Course Management) menu being chosen. The third screenshot shows the '学生管理' (Student Management) page with a table of students. The '編集' (Edit) button for the 'e-mail' column is highlighted. The final screenshot shows the '第一回課題' (First Assignment) column with scores being entered for two students, and the '更新' (Update) button being clicked.

姓名	ユーザID	中間成績	最終成績	所属	e-mail	第一回課題
桃唐 生徒	s_momokara	---	---	どこかの学部	momokara@hiroshima-u.ac.jp	100.00
隅谷 孝洋	takahiro	---	---	IMC	sumi@riise.hiroshima-u.ac.jp	---

点数のダウンロード

課題ツールで採点した結果は、「学生管理」で一覧できるように
なっています。PC へのダウンロードもここからできます。

1. コントロールパネルをクリックします
2. 「コース管理」をクリックします。
3. 「学生管理」をクリックします。
4. 学生リストが表示されます。このリストには設定済みの課題
やテストの成績が集約されています。
5. 状況によってはすべての学生が表示されていない場合あり
ますので、念のため「オプション：レコード」から「すべて
の学生を表示」を選んで「OK」をクリックします。
6. 「オプション：レコード」から「ダウンロード」を選び「OK」
をクリックします。
7. 「区切り文字」で「タブ」を選び、「ダウンロード」をクリッ
クします。（「カンマ」でも構いません）
8. class_(日付).txt という名称のファイルがダウンロードされ
ます。このファイルは、漢字コードが UTF-8、改行コードが
LF (Unix) になっているので開く際に注意が必要です。

1. コントロールパネル

2. コース管理

3. 学生管理

4. 学生リスト

5. オプション：レコード

6. ダウンロード

7. 区切り文字

8. class_(日付).txt

課題の得点のカラム。
課題を増やすとカラムが増えていく。

表データ部分をマウスで選択してコ
ピーしたものを、エクセルに直接貼付
ることもできます。

学生レコードをダウンロード
ダウンロードするファイルで使用する区切り文字を選
区切り文字：

姓 名	ユーザID	中間成績	最終成績	所属	e-mail	レポート提出の練習
桃唐 生徒	s_momokara	---	---	どこかの学部	momokara@hiroshima-u.ac.jp	100.00
隈谷 孝洋	takahiro	---	---	IMC	sumi@riise.hiroshima-u.ac.jp	---

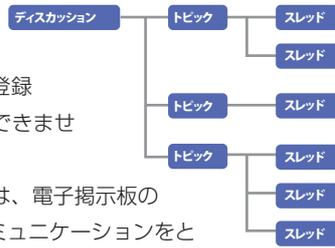
「掲示板」 -- ディスカッションツール

概要

いわゆる電子掲示板です。通常の電子掲示板と同じようなものですが、コースに登録されている人しか読み書きができません。

完全オンラインのコースでは、電子掲示板のような機能を使って学生とコミュニケーションをとる事は欠かせないものです。対面授業を補完する場合でも、時間と場所にとらわれずに学生・TA・教員の間で利用できるディスカッションツールは非常に有効です。

WebCTの掲示板は、用途に応じて複数に分ける事ができます。WebCTではこれをトピックと呼びます。トピックごとに、公開非公開の状態とか、匿名投稿の可否などを設定する事ができます。



掲示板に書き込む

1. コースホームページで「掲示板」をクリック（デザイナーモードでもプレビューモードでもどちらでも書き込みできます）
2. 書き込みたいトピックを選びます。最初は「メイン」と「ノート」しかありません。ここでは「メイン」をクリックします。
3. 「メッセージを作成」をクリックします
4. 新しく書き込みをすると、スレッドを作る事になります。まず「件名」を記入します。
5. メッセージの欄に本文を書きます。このとき、本文の改行をしたいところでは明示的に改行キーを押しておき、欄の下の「折り返さない」を選んでおくとトラブルが少ないです。そうしないと長い文章が横一列に並んで非常に読みにくくなります。
6. 必要であれば、ファイルを添付する事もできます。
7. 実際に投稿する前に「プレビュー」しましょう。
8. 「プレビュー」で問題なければ「投稿」をクリックします。
9. 「一覧更新」をクリックすると、今投稿した記事が表示されます。

The screenshots illustrate the following steps:

1. Clicking "メッセージを作成" (Create Message) on the "ディスカッション" (Discussion) page.
2. Selecting the "メイン" (Main) topic from the list.
3. Clicking "メッセージを作成" in the dialog box.
4. Entering a subject name ("件名") in the "ディスカッションメッセージを作成" dialog.
5. Writing the message content in the "メッセージ" field and selecting "折り返さない" (Do not wrap) for better readability.
6. Adding files in the "添付ファイル" (Attachments) section.
7. Clicking "プレビュー" (Preview) to check the message.
8. Clicking "投稿" (Post) to submit the message.
9. Clicking "一覧更新" (Refresh List) to see the newly posted message.

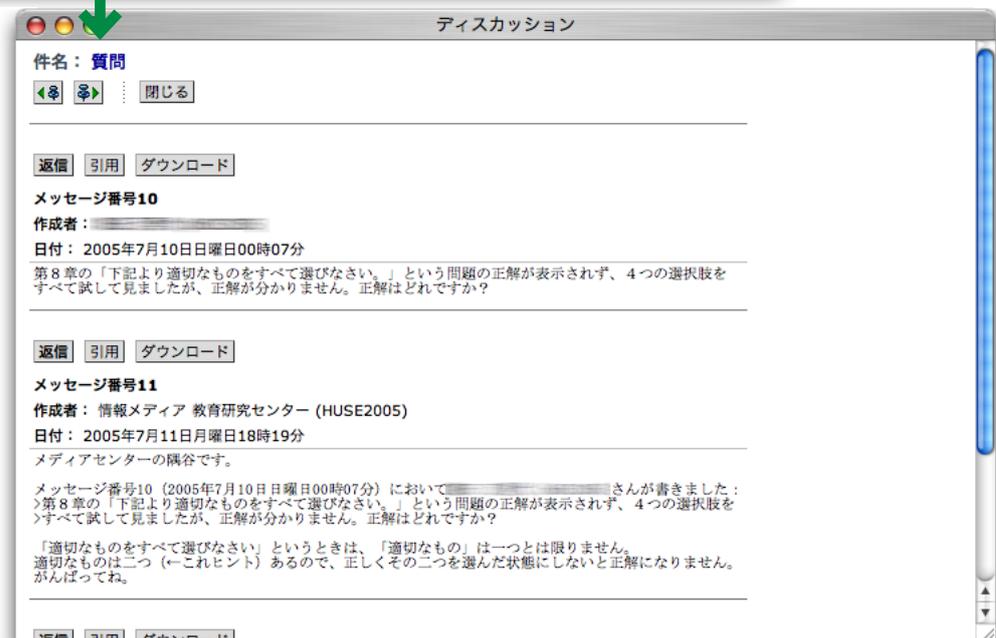
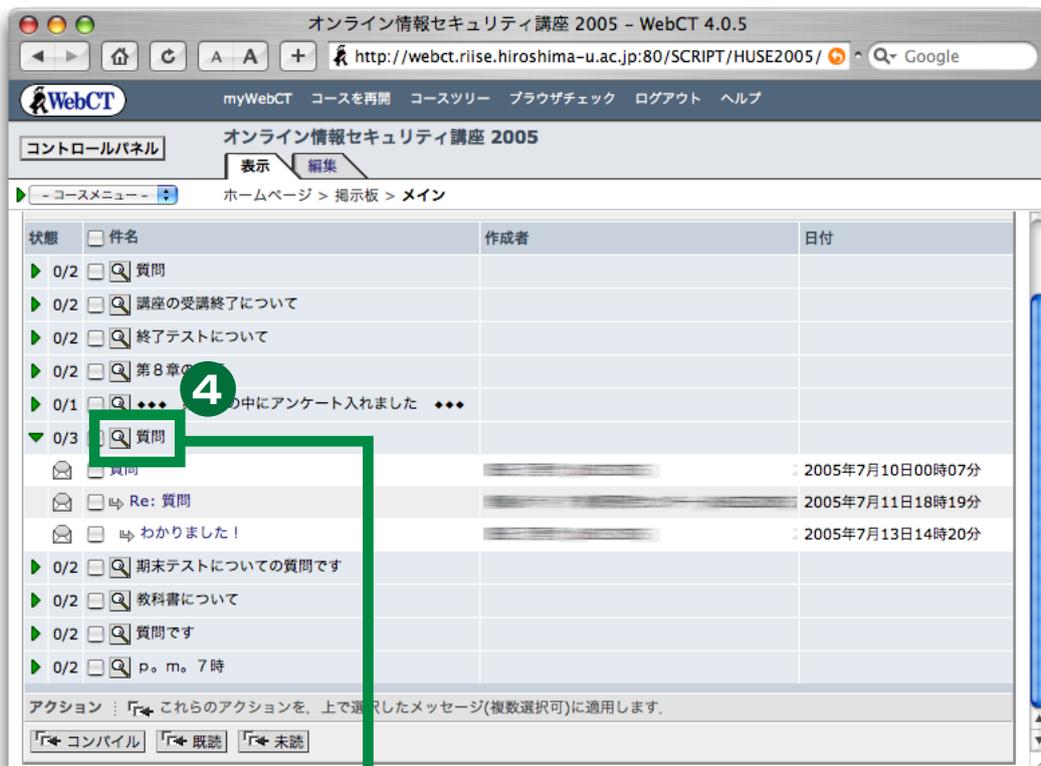
記事を読む

メッセージはスレッドごとに読むと簡単です。

1. メッセージ一覧で、スレッド表示になっていない場合は「スレッド化」をクリックします
2. メッセージ一覧の左端に緑の三角がありますが、▶の時はスレッドを閉じた状態、▼の時はスレッドを展開した状態です。
3. スレッドを展開しているときは、メッセージタイトルをクリックすると、そのメッセージを読む事ができます。
4. スレッドタイトル左の虫眼鏡アイコンをクリックすると、そのスレッドをまとめて読む事ができます。

「ノート」って何？

初期状態では、「メイン」と「ノート」という二つのトピックが作られます。「ノート」はコンテンツモジュールの内容について議論をするためにあらかじめ作成されているトピックです。コンテンツモジュールを開覧している状態で、掲示板に質問を書き込んだり、議論の内容を参照したりすることが手軽にできるようになっています。



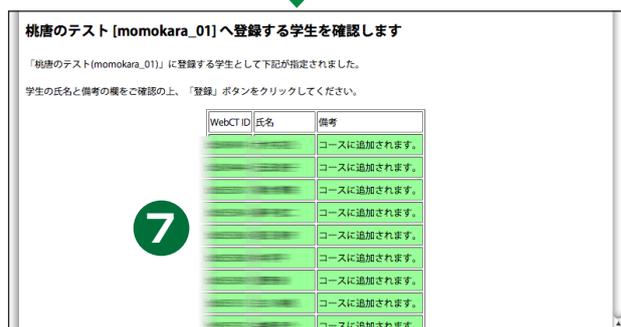
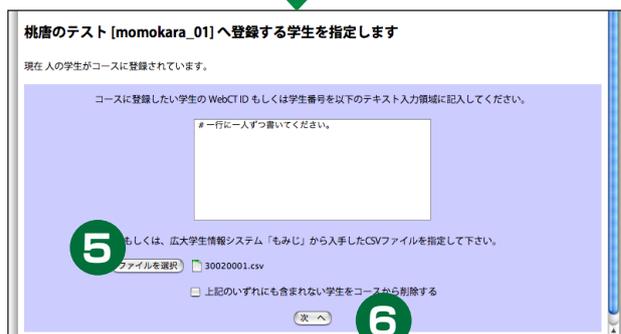
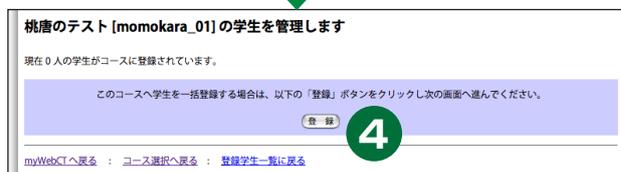
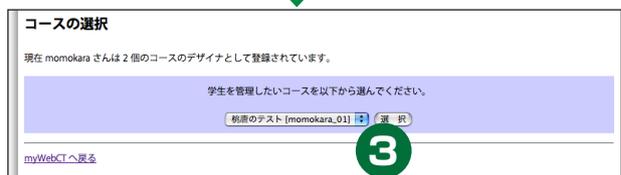
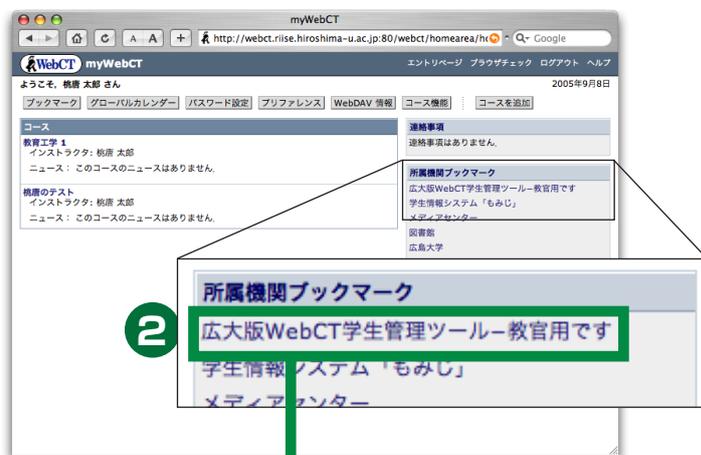
コース管理

学生を登録する

myWebCTの「所属機関ブックマーク」に「学生管理ツール」がありますのでこちらを利用してください。(WebCTの標準的な機能を使う場合、教師がコースに学生を登録する際には一人ずつ登録する必要があります。複数名を一括で登録できません)

事務的に履修登録をしている学生を一括してWebCTに登録する場合、以下のようにします。

1. 「もみじ」を開き履修者のリストをCSV形式で取得して下さい
2. myWebCTの「所属機関ブックマーク」の下にある「学生管理ツール」をクリックします
3. 学生を登録したいコースを選び、「選択」をクリックします。
4. コースに登録されている学生がいる場合はここに一覧表が出ます。最初は誰も登録されていませんので、「登録」ボタンだけが表示されています。「登録」をクリックして下さい。
5. 「ファイルを選択」をクリックし「もみじ」からとってきたCSVファイルを指定します。
6. 「次へ」をクリックします。
7. ファイルから学生を読み込み、図のように確認する画面になります。問題なければ、画面最下部に「登録」ボタンがありますので、これをクリックします。これで登録終了です。
8. 大学院生等の場合、「WebCT IDを新規に作成しました」となりパスワードが画面に表示される事があります。登録した大学院生がはじめてWebCTを利用する場合にはこういう事になります。表示された情報を印刷し、学生さんに渡してあげてください。



ダミー生徒も登録しましょう

5のテキスト入力エリアにダミー学生のWebCT IDを書いて一緒に登録しておきましょう。先にも述べたように、学生でないときちんと確認できない設定がたくさんあります。

TA を登録する

TA は、レポートやテストの採点、学生管理などの作業をする事ができます。コンテンツの改変はできません。

1. コントロールパネルを開きます
2. 「コース管理」をクリックします
3. 「TA 管理」の下の「TA を追加」をクリックします

- 4.TA の WebCT ID (広大 ID) を記入し「追加」をクリックします
- 5.TA が追加されます

The screenshot shows the WebCT 4.0.5 interface for '桃唐のテスト' (Momokara Test). The interface is divided into several sections:

- コントロールパネル (Control Panel):** Contains 'コースメニュー' (Course Menu) and '基本的コントロールパネル' (Basic Control Panel).
- 基本的コントロールパネル (Basic Control Panel):** Contains 'ページまたはツールを追加' (Add page or tool), 'ページまたはツールを編集' (Edit page or tool), 'ファイル管理' (File management), 'コース管理' (Course management), and 'コース設定' (Course settings).
- TA 管理 (TA Management):** Contains 'TA を追加' (Add TA), 'レコード検索' (Record search), '設定変更' (Change settings), 'コラムを管理' (Manage columns), and '更新ログを表示' (Display update log).
- 学生トラッキング (Student Tracking):** Contains 'レコード検索' (Record search), '設定変更' (Change settings), 'コラムを管理' (Manage columns), and '更新ログを表示' (Display update log).

The steps are indicated by green circles and arrows:

1. Click 'コントロールパネル' (Control Panel).
2. Click 'コース管理' (Course Management).
3. Click 'TA を追加' (Add TA) under 'TA 管理' (TA Management).
4. Enter the 'TA の WebCT ID' (TA's WebCT ID) in the input field and click '追加' (Add).

TA の WebCT ID は？

彼(彼女)の学生番号を聞き、それを 26 ページの方法でいったん学生としてコースに登録してください。最後の画面で WebCT ID とパスワードが表示されますので、それを TA に伝えます。TA の学生登録を削除し、改めて TA として登録し直します。

TA を学生としてコースに登録してみてもパスワードが表示されない場合は、すでに WebCT ID が発行されています。きっとパスワードがわからなくなっているでしょうから、学生証をもってセンター(西図書館 2F)に行くように指示してください。

複数教員で管理する

WebCTには共同デザイナーという役割があり、共同デザイナーはデザイナーとほとんど同じ権限を持っています。ですが、掲示板やWebCTメールで学生とコミュニケーションを取ろうとすると、そのときに表示される名前までデザイナーと同じで区別が付きません。

コンテンツを共同で作成する場合には共同デザイナー身分で登録し、学生と対話をしたい場合には（教員だけ）TA身分で登録するのが良いでしょう。場合によっては、二つのIDを使って共同デザイナーとTAの両方で登録する必要もあるかもしれません。

共同デザイナーを登録するには以下のようにします。

1. コントロールパネルを開く
2. 「コース管理」をクリックします
3. 「共同デザイナー」をクリックします
4. 「アクションメニュー」の「オプション」の欄に共同デザイナーとしたい利用者のWebCT IDを記入し、「追加」をクリックします。
5. 共同デザイナーが登録されました。

1. コントロールパネル

2. コース管理

3. 共同デザイナー

4. 共同デザイナーはいません。

5. 共同デザイナー

WebCT ID	姓	名
<input type="checkbox"/> nakamura	中村	純

コースのバックアップを作成する

WebCTにはコースバックアップ機能がついています。ある時点でコースの内容を一つのファイルにアーカイブします。作成したアーカイブをご自分のPCに保存しておき、時をへてからアップロードしてリストアする事も可能です。リストアするときは全く別のコースでも良いので、同僚の先生にそのファイルを渡して、コース内容を共有する事もできます。

コースバックアップを作成するには以下のようにします。

1. コントロールパネルを開く
2. 「コース管理」をクリックします
3. 「コースをバックアップ」の下の「作成」をクリックします。
4. 説明文を記入します。複数のバックアップを作成する場合は、説明文はきわめて重要ですのでちゃんと書きましょう。書いたら「作成」をクリックします。
5. バックアップが作成されました。

バックアップを作成
 注意: バックアップ後のファイル名は WebCT により自動的に決定されます。
 このバックアップファイルに関する説明文を入力してください。
 とりえず完成版.TAと共同デザインも登録済み。

コースをバックアップ

バックアップファイル名	ファイルサイズ (バイト)	説明文
<input type="radio"/> momokara_01_Sep08_1900.zip	2308959	とりえず完成版.TAと共同デザインも登録済み。
<input type="radio"/> TMPL_200502_Apr13_2131.zip	28742	initial backup

アクション
 ➡は、メインのフレームから選択する必要があります。
オプション: バックアップファイル

オプション: リストア
 現在コースに登録している学生をバックアップファイルの学生と置き換えるには、**リストア (学生を置換)** をクリックします。

 現在コースに登録している学生を保持してバックアップファイルの学生を無視するには、**リストア(学生の保持)** をクリックします。

リストア (バックアップから戻す) はこちら

コースホームページ (2)

ヘッダのテキストを書き換える

コースホームページのコンテンツエリアにはツールを示すアイコンが表示されています。アイコンが表示される領域の上下にヘッダ領域とフッタ領域が用意されており、任意の文字や画像を表示させる事ができます。

初期の状態では、ヘッダに「『WebCT コース』へようこそ」という文字が置かれています。フッタには何もありません。ここではヘッダの文字列を書き換えてみます。

1. 「WebCT コースへ…」の左にあるラジオボタンを選択します。
2. アクションメニューの「オプション:ヘッダ・フッタ」から「編集」をクリックします。
3. 「テキストヘッダ」の「テキスト:」を編集します。
4. 画面最下部の「更新」をクリックします。
5. ヘッダの文字列が修正されました。

The image shows a sequence of three screenshots from the WebCT 4.0.5 interface, illustrating the steps to edit the course homepage header text.

Top Screenshot: The main interface is shown. The course name is "桃唐のテスト". The "ホームページ" (Home Page) section is active. A green circle with the number "1" highlights the radio button next to the header text "WebCT コースへようこそ". On the right-hand side, the "オプション:ヘッダ・フッタ" (Options: Header/Footer) menu is open, and a green circle with the number "2" highlights the "編集" (Edit) button.

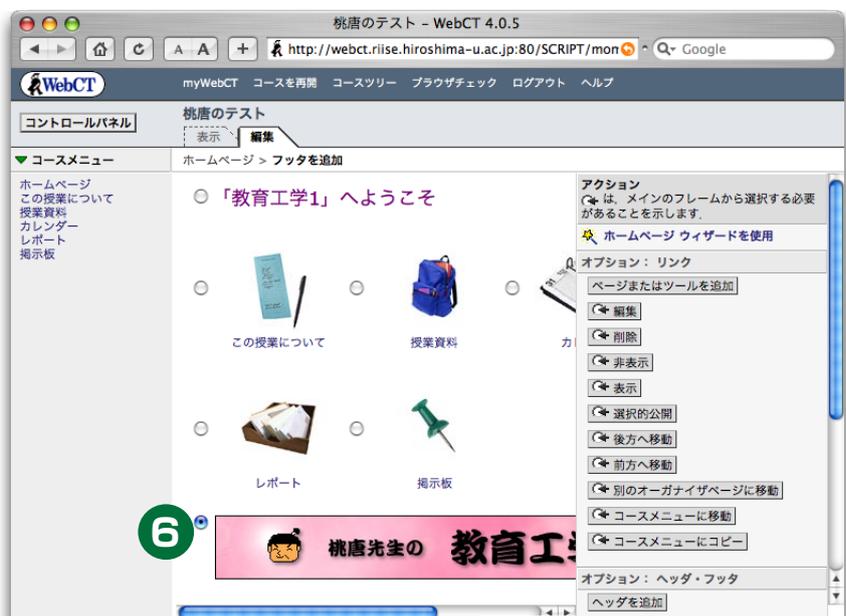
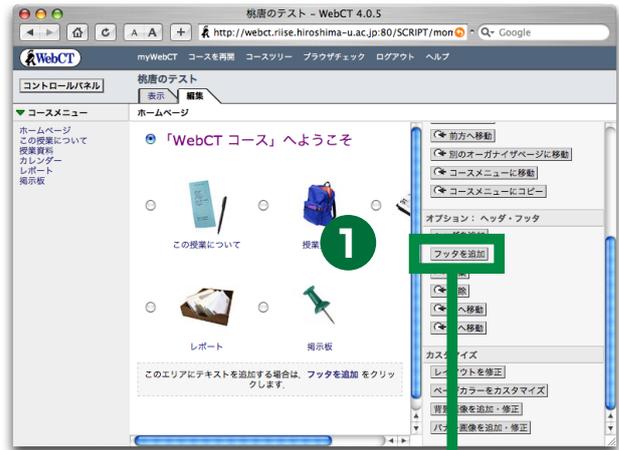
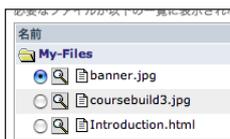
Middle Screenshot: A pop-up window titled "ホームページ > テキストを編集" (Home Page > Edit Text) is displayed. It shows the "テキストヘッダ" (Text Header) section. A green circle with the number "3" highlights the text input field containing "「教育学1」へようこそ".

Bottom Screenshot: The main interface is shown again. The header text has been updated to "「教育学1」へようこそ". A green circle with the number "5" highlights the "更新" (Update) button at the bottom right of the interface.

フッタ領域に画像を表示させる

授業のバナー画像をフッタ領域に表示させてみます。あらかじめバナー画像はお手元の PC に作成してあると仮定します。フッタを追加するところから始めましょう。

1. 「フッタを追加」をクリックします
2. 「画像」と書かれた所までスクロールし、「ブラウズ…」をクリックします。
3. ファイルブラウザが表示されます。すでに WebCT にアップロード済みのファイルの一覧が表示されています。必要なファイルはまだアップロードされていません。「ファイルを選択」ボタンをクリックして、作成した画像を選択します。
4. 「アップロード」をクリックすると、My-Files の下にファイルが表示され、選択された状態になります。「追加」をクリック。
5. 「追加」をクリックします。
6. フッタ領域が作成され画像が表示されています。「表示」タブをクリックして、確認します。



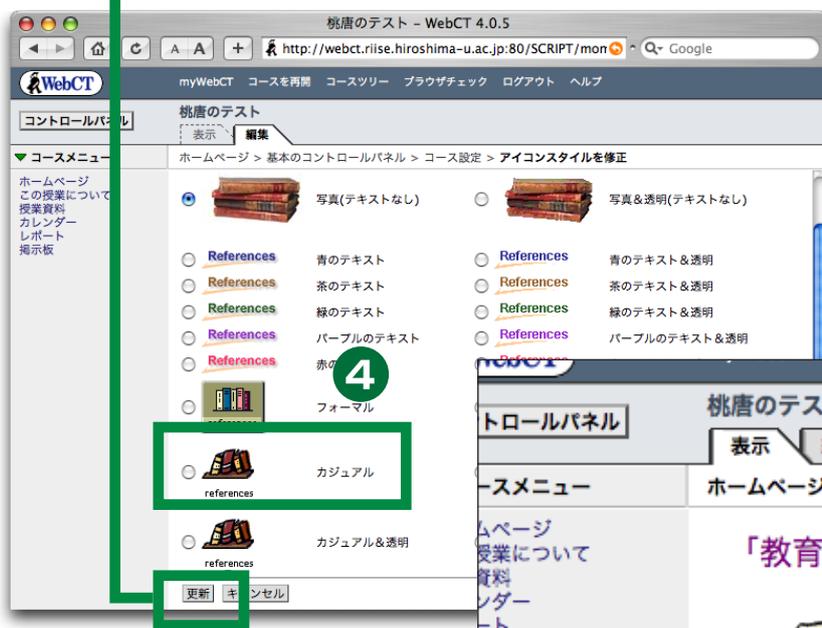
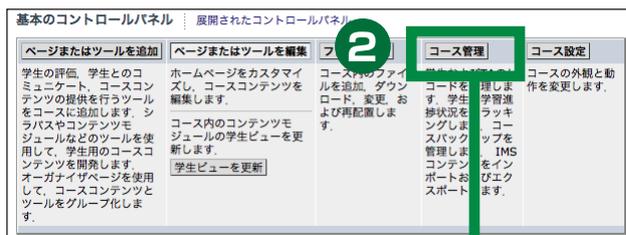
アイコンを変更する

各ツールのアイコンは好きなものに変更する事ができます。

アイコンセットがあらかじめいくつか用意されていますので、それを使うと一括して変更する事ができます。アイコンセットを使うには以下のようにします。

1. コントロールパネルをクリックします
2. 「コース設定」をクリックします
3. 「アイコンスタイルを修正」をクリックします
4. 数種類のアイコンセットが表示されますのでその中から選択します。ここでは「カジュアル(テキストなし)」を選びました。「更新」をクリックします。
5. 「ホームページ」をクリックしてホームページに戻ります
6. アイコンが変わっている事が確認できます

セットではなくて一つずつを指定したい場合は、コースホームページでリンクの「編集」を行ないます。



ツールの追加

1. デザイナモードに切り替えます。
2. アクションメニューの「オプション：リンク」から「ページまたはツールを追加」をクリックします
3. 使用できるツールの一覧が出るのでそこから必要なツールをクリックします。ここでは「メール」を追加してみます。
4. タイトルを入力:の部分に「WebCT メール」と入れます。ツール名称は「メール」ですが、コースホームページに表示される名称は任意に設定できます。
5. 「すべてのページでコースメニューに表示」を選択します。これにより、コースメニューに「WebCT メール」の項目が表示されるようになります。
6. 「1つのオーガナイザページ上：ホームページ」を選択します。これによりコースホームページの最初の画面で「WebCT メール」のアイコンが表示されるようになります。

7. 「追加」をクリックします。
8. 「表示タブ」をクリックして、確認しましょう。

ツールによっては、7で「追加」をクリックした後さらにツール動作を設定するための画面に移動するものもあります。設定を間違いなく行なうため、ウィザードと呼ばれる補助ツールも用意されています。ウィザードを使って設定を行なうには、3の段階で「利用可能な場合にウィザードを使用」にチェックをつけておきます。WebCTのオンラインヘルプには、はじめてのユーザが次のツールを使う際にはウィザードを使用した方がいいと書いてあります。

オーガナイザページ / シラバス / コンテンツモジュール
/ ディスカッション / メール / チャット / カレンダー

「教育工学1」へようこそ

アクション
は、メインのフレームから選択する必要があります。
ホームページウィザードを使用

ページまたはツールを追加

削除
非表示
表示
選択の公開

ページまたはツールを追加 > メールを追加

ページ	コースコンテンツツール	コミュニケーションツール	評価・アクティビティツール	学生ツール
オーガナイザページ	シラバス	ディスカッション	テスト・アンケート	学習記録
シングルページ	コンテンツモジュール	メール	セルフテスト	成績表
URL	用語集	ホワイトボード	課題	言語選択
	画像データベース	ホワイトボード	学生プレゼンテーション	
	インデックス	カレンダー	学生ホームページ	

ページまたはツールを追加
コースに追加するページ・ツールを選択します。
 利用可能な場合にウィザードを使用

メールを追加

1. この項目のタイトルを入力: WebCTメール

2. 項目へのリンクの表示場所を決めます

すべてのページでコースメニューに表示 (リンクはテストとして表示されます)

1つのオーガナイザページ上: ホームページ

タイトルを表示

アイコンを表示

デフォルトアイコンを使用

カスタムアイコンを使用:

通常アイコンを選択: ブラウズ...

新着メッセージを通知するアイコンを選択: ブラウズ...

7 追加をクリックし、この項目をコースに追加します。

追加 キャンセル

桃唐のテスト - WebCT
http://webct.riise.hiroshima

myWebCT コースを再開 コースツール ブラウザ

コントロールパネル 桃唐のテスト
表示 編集

▼ コースメニュー
ホームページ

ホームページ
この授業について
授業資料
カレンダー
レポート
掲示板
WebCTメール

「教育工学1」へようこそ

この授業について 授業資料 カレンダー
レポート 掲示板 WebCTメール

コースを階層的に構成する

オーガナイザページはフォルダのようなものです。これを使ってWebCTのコースホームページを階層的に構成することができます。

39ページの例に従ってWebCTメールを追加していると仮定します。ここに「コミュニケーション」というオーガナイザページを作り、その中に「掲示板」と「WebCTメール」を移動させてみましょう。

1. デザイナモードに切り替えます。
2. アクションメニューの「オプション：リンク」から「ページまたはツールを追加」をクリックします
3. 「オーガナイザページ」をクリックします
4. 図のように設定し、「追加」をクリックします
5. 「コミュニケーション」というアイコンができました。プレビューモードでクリックしてみると空っぽのフォルダである事がわかります。

6. 「ホームページ」に戻り、「編集タブ」をクリックしてデザイナーモードに切り替えます。
7. 「掲示板」にチェックをつけて、アクションメニューの「オプション：リンク」から「別のオーガナイザページへ移動」をクリックします。
8. ポップアップメニューで移動先のオーガナイザページを選択する画面になります。「コミュニケーション」が選ばれている事を確認し、「移動」をクリックします。
9. 同様にして「WebCTメール」も移動します。
10. 「表示」タブをクリックしてプレビューモードに切り替え、「コミュニケーション」をクリックします。その中に二つのアイコンが移動している事が確認できます。

普通のファイル操作と比較すると少々面倒ですが、フォルダ機能を使ったアイコンの整理ができる事がわかります。コースホームページを開いたときに最初に表示される「ホームページ」もオーガナイザページの一つとして扱われます。ただし「ホームページ」は削除できません。

桃唐のテスト - WebCT 4.0.5

http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp:80/SCRIPT/mon

myWebCT コースを再開 コースツリー ブラウザチェック ログアウト ヘルプ

コントロールパネル 桃唐のテスト 表示 編集

▼ コースメニュー ホームページ > 基本のコントロールパネル > ページまたはツールを追加

ページまたはツールを追加
コースに追加するページ・ツールを選択します。
 利用可能な場合にウィザードを使用

ページ	コースコンテンツツール	コミュニケーションツール	評価・アクティビティツール	学生ツール
オーガナイザページ	シラバス	ディスカッション	テスト・アンケート	学習記録
コンテンツモジュール	用語集	メール	セルフテスト	成績表
URL	画像データベース	チャット	課題	言語選択
	インデックス	ホワイトボード	学生プレゼンテーション	
	コンテンツユーティリティ	カレンダー	学生ホームページ	
	検索	学生ティップス		
	コンパイル			
	コースを再開			
	CD-ROM			

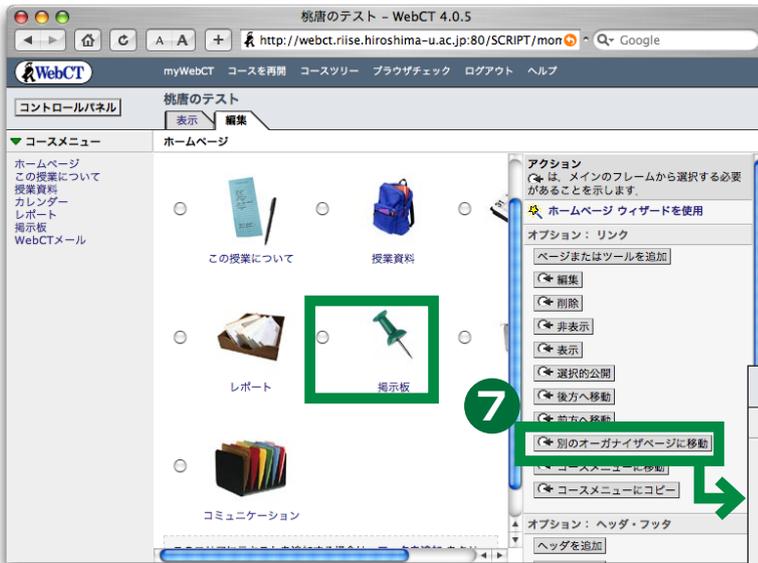
桃唐のテスト 表示 編集

ホームページ > ページ・ツールを追加 > オーガナイザページを追加

オーガナイザページを追加

1. この項目のタイトルを入力:
2. 項目へのリンクの表示場所を決めます
 - すべてのページでコースメニューに表示 (リンクはテキストとして表示されます)
 - 1つのオーガナイザページ上:
 - タイトルを表示
 - アイコンを表示
 - デフォルトアイコンを使用
 - カスタムアイコンを使用
3. アイコンを選択:

追加



同様に「メール」も移動



テスト・アンケート

概要

「テスト・アンケート」は、小テストやアンケートを行い、結果の自動採点や集計を行うツールです。「テスト・アンケートツール」では、表に示した5つのタイプの質問を扱うことができます。

小論文以外のすべてのタイプで、自動採点機能を使う事ができます。採点した結果を学生にどのように開示するかも非常に細かく設定する事ができます。

WebCTのテスト・アンケートは大きく二つのレベルで構成されます。

まず、質問が納められた「質問データベース」があります。ここでは個々の質問の内容と正解が定義されます。一つの質問が複数の回答からなる場合、その配点はパーセントで定義しておきます。質問データベースは、テストとアンケートで共通です。

次に、質問データベースから引っ張り出してきた問題を使って、一回分のテスト、またはアンケートを作成します。学生が見るのはこのレベルです。教官の本棚に何冊か問題集があって、ここから切り貼りをして中間試験や期末試験を作るといったイメージですね。学生が回答した結果は、質問データベースではなくて、各回のテストやアンケートの中に保存されます。

各回のテストやアンケートはもちろん、質問データベースもコース内に保存されるものです。コースを跨いで利用することはできません。質問データベースには質問をテキスト形式でエクスポートをする機能があるので、あるコースで作成したものを別のコースでも利用したい場合はその機能を使うこ

とになります。各回のテストやアンケートは、IMSコンテンツエクスポート/インポート機能を使って共有できます。

学生がテストを受験すると、その結果がWebCTシステムに蓄積されていきます。教師は、

- 点数の一覧
- 平均点や標準偏差といった、点数の基本統計量（クラス全体、学生のグループ別）
- 質問毎の点数の基本統計量、回答パターンの分布などをWebCTシステム上で閲覧することができます。

「テスト・アンケート」ではアンケートも扱うことができます。アンケートがテストと大きく異なる点は、匿名で実施されるということです。教官が見ることができるのは、各学生がアンケートに回答済みかどうかということと、名前を隠された回答結果のみです。

質問データベース

カテゴリ	質問タイトル
作り方	必要になる材料は？
	適切な鉄板の厚みは？
	タマゴはいつ投入する？
	ひっくり返す時のコツを書け
文化的側面	広島食文化に占めるお好…
	広島人のアイデンティティ…
アンケート用	お好み焼きは月何回？
	町内に何軒お好み焼き屋が…

テスト：第一回復習テスト

質問	学生の回答
必要になる材料は？	
タマゴはいつ投入する？	

アンケート：第一回アンケート

質問	学生の回答
適切な鉄板の厚みは？	
お好み焼きは月何回？	

選択形式	回答候補を与えて、その中から正解を選ぶ形式の質問です。候補の中に正解は複数含まれていてもよいし、複数の正解の各々に違う点数を与えることもできます。また、正解となる候補が複数ある場合、全てを正しく選択しないと点を与えないという設定もできますし、一部だけでも点数を与えるという設定もできます。特定の選択肢を選んだら、減点するという設定も可能です。
整合形式	二群の項目を列挙し、正しく整合する組み合わせを答えさせる形式の質問です。これも、すべて正しくないと点数を与えないということもできますし、一部だけで点数を与えるということもできます。
短答形式	回答となる言葉を学生に直接記入させる形式の質問です。回答に改行を含めることはできません。自動採点のための正解は複数指定でき、それぞれに与える点数を変えることができます。また、回答欄を複数用意することも可能です。回答欄を複数用意した場合、正解は順不同にもできますし、順番も正しくないとダメ、という設定にもできます。後者の設定は、穴埋め問題に利用できます。
計算	上の短答形式と見た目は似ていますが、簡単な計算問題に特化した形式です。問題文の中に数値を埋め込む場所を指定し、計算式の形で正解を用意しておきます。質問を用意する際に、埋め込む数値の実際の値を複数組生成しておき、学生に出題される時にはその中から無作為の一つが選ばれます。
小論文形式	回答となる言葉を学生に直接記入させる形式の質問です。短答形式とは異なり、学生は回答として複数行の文章を記入することができます。この形式の質問だけは、自動採点をさせることができません。これらの5つのタイプの質問を複数個組み合わせると一回分のテストを作成します。コースの中には、テストは何回分でも作成できます。

テストを作る

初期状態のコースホームページでテストを行なうには以下の四つのステップが必要になります。

- テスト・アンケートツールを追加する
- テストを作成する
- 質問（問題）を作成し、テストへ追加する
- テストが実施できるように設定する

まず、コースへテスト・アンケートツールを追加しましょう。

1. コースホームページを表示させ、「編集タブ」をクリックしてデザイナーモードにします。
2. 「アクションメニュー」の「オプション：リンク」から「ページまたはツールを追加」をクリックします。
3. 「評価・アクティビティツール」の中の「テスト・アンケート」をクリックします。
4. 図のように記入、設定し、「追加」をクリックします。
5. コースホームページに「小テスト」が現れました。

アクション
 (🔗) は、メインのフレームから選択する必要があります。
 ✨ ホームページ ウィザードを使用

ページまたはツールを追加

ページ	コースコンテンツツール	コミュニケーションツール	評価・アクティビティツール	ツール
オーガナイザページ	シラバス	ディスカッション	テスト・アンケート	記録
シングルページ	コンテンツモジュール	メール	セルフテスト	成績表
URL	用語集	チャット	課題	言語選択
	画像データベース	ホワイトボード	学生プレゼンテーション	
	インデックス	カレンダー	学生ホームページ	
	コンテンツユーティリティ	学生ティップス		
	検索			
	コンパイル			
	コースを再開			
	CD-ROM			

テスト・アンケートを追加

1. この項目のタイトルを入力：

2. 項目へのリンクの表示場所を決めます

すべてのページでコースメニューに表示 (リンクはテキストとして表示されます)

1つのオーガナイザページ上：

タイトルを表示

アイコンを表示

デフォルトアイコンを使用

カスタムアイコンを使用

アイコンを選択：

3. 追加をクリックし、この項目をコースに追加します。

アクション
 (🔗) は、メインのフレームから選択する必要があります。
 ✨ ホームページ ウィザードを使用

オプション：リンク

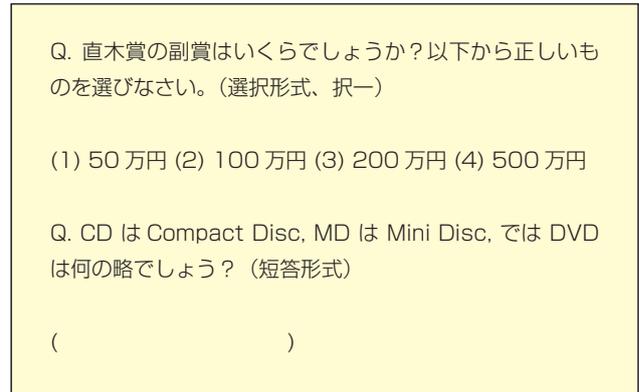
- ページまたはツールを追加
- 編集
- 削除
- 非表示
- 表示
- 選択の公開
- 後方へ移動
- 前方へ移動

次に、テストを作成します。

6. 「小テスト」のアイコンをクリックします。
7. アクションメニューの「オプション」から「テストを作成」をクリックします。
8. テストのタイトルを決める画面になりますので「第一回小テスト」として「作成」をクリックします。
9. テストが作成されます。



次に、テストへ質問を追加していきます。以下のような二つの質問を作成し追加する事にします。



10. テストのタイトル「第一回小テスト」をクリックし、テストの編集画面（テストエディタ）へ進みます。

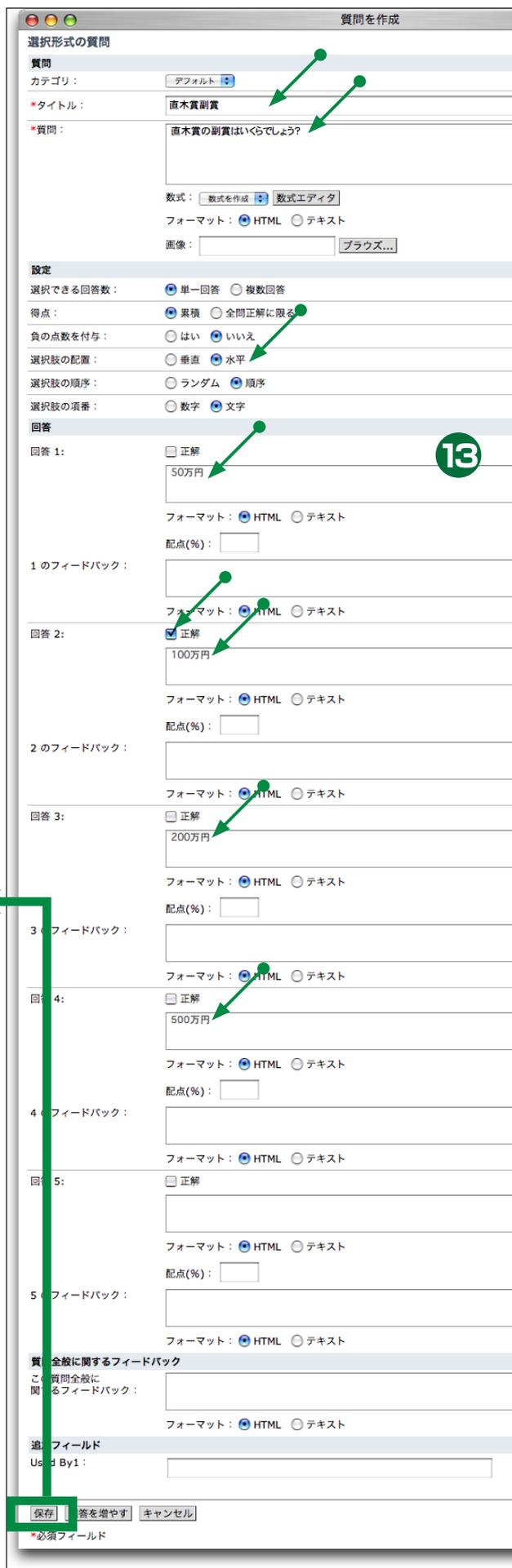
11. アクションメニューの「オプション」から「質問を追加」をクリックします。



12.「質問ブラウザ」が現れます。ここには質問データベース(ページ)に登録してある質問の一覧が表示され、そこから追加するものを選ぶのですがまだ選べるものが一つもありません。新しく質問を作成します。最初に作るのは選択式の質問なので、「質問の種別」で「選択形式」を選び「作成」をクリックします。

13. 質問を作成するためのウィンドウが現れます。図のように記入、設定して「保存」をクリックします。

14. 質問が一つ作成されました。虫眼鏡のアイコンをクリックすると質問内容がプレビューできます。



15. 続けて二つ目の質問も作成しましょう。「質問の種類」で「短答形式」を選び「作成」をクリックします。
16. 図のように記入、設定して「保存」をクリックします。
17. 二つ目の質問が作成されました。虫眼鏡のアイコンをクリックしてプレビューできます。プレビュー画面では、回答を入れてみて自動採点を試す事もできます。
18. 作成した二つの質問を両方ともチェックし、「追加」をクリックします。
19. 二つの質問が「第一回小テスト」に追加されました。表の「点」の欄に配点を記入し「合計を更新」をクリックしましょう。



最後に、このテストが実施できるように設定を行ないます。

20. アクションメニューの「オプション」から「テストの設定を編集」をクリックします。

21. たくさんの設定事項がありますが、最低「開始日時」を設定すればテストは実施できます。ここでは図のように設定して、「更新」をクリックします。

22. これでテストの実施ができるようになります。

テスト設定の確認

テストの設定にはたくさんの項目があり、キメ細かい設定ができる反面「難しい」と感じる方も多いようです。とくに結果の通知方法は文面だけではわかりづらく自分の思うようになっていくのが慣れないとよくわかりません。

これらの設定がちゃんと思っているかどうかを確認するには、ダミー学生でログインし直して実際に受験するしかありません。確認がすむまで学生に公開しないようにするには、21のステップで「選択的公開」「公開する学生：」にダミー学生の WebCT ID だけを入れておきます。

選択的公開

公開する学生：

s_momokara

選択

テスト回答状況の閲覧

学生の回答を一覧したり、簡単な統計量を調べたりすることができます。

1. テスト・アンケートツールのアイコンをクリックします。テストの一覧が表示されます。
2. 学生の様子を見たいテストを探し、「答案」をクリックします。
3. 図のような答案の一覧表が表示されます。

各学生の「答案 No.」の数字部分をクリックすると、学生が提出した答案が閲覧できます。時間をクリックすると、各質問に費やした時間をみることができます。

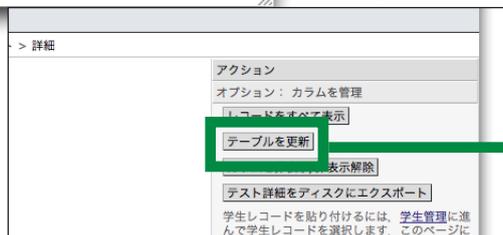
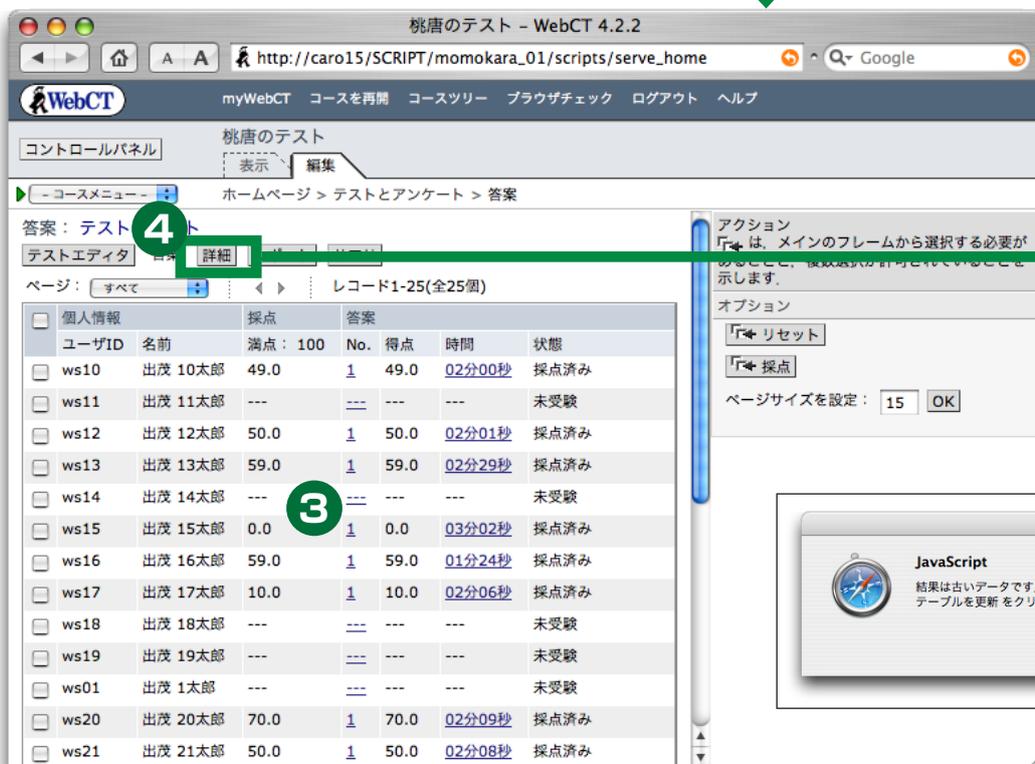
一番右の「状態」の欄には「未受験」「採点済み」「採点されていない」「実施中」などと書かれています。

「実施中」は、学生がテストを開いたにもかかわらずまだ「答案を提出」の操作をしていない事を表しています。

「採点されていない」は学生が答案を提出したのにまだ点数がついていない状態で、小論文形式の質問がテストに含まれている場合に発生します。小論文は自動採点できないのでこれは当然なのですが、自動採点できるテストでもこの状態になっていることがあります。学生が「テストの結果を表示」のリンクをクリックしていない場合です。その場合は、その回答を選択してアクションメニューの「採点」をクリックすれば OK です。

各問題に対する回答状況を調べたいときは「詳細」をクリックします。

4. 「詳細」をクリックします。
5. 最後に詳細表示をした後、答案の提出があった場合は図のような警告が出ます。「OK」をクリックし、アクションメニュー「オプション：カラムを管理」の「テーブルを更新」をクリックします。
6. しばらくすると図のような一覧が現れます。ここには、各学生の各質問に対する答えがすべて並べてあります。
7. 各質問毎の答案サマリを見るには、質問タイトル下の「サマリ」をクリックします。選択式の質問の場合はヒストグラムが表示されます。



桃唐のテスト - WebCT 4.2.2

http://caro15/SCRIPT/momokara_01/scripts/serve_home

WebCT myWebCT コースを再開 コースツリー ブラウザチェック ログアウト ヘルプ

桃唐のテスト

コントロールパネル 表示 編集

ホームページ > テストとアンケート > 詳細

詳細: テストのテスト

姓 名	ユーザID	採点	添削者	DVD	映画監督 (1)	映画監督 (2)
出茂 16太郎	ws16	59.0	b	サマリ	サマリ	サマリ
出茂 6太郎	ws06	0.0	a	digital video	矢口 史靖	佐々部 清
出茂 9太郎	ws09	70.0	b	divided	矢口 史靖	崔 洋一
出茂 7太郎	ws07	49.0	b	Digitl video disc	佐々部 清	矢口 史靖
出茂 5太郎	ws05	40.0	c	Digital Visual Disk	崔 洋一	矢口 史靖
出茂 8太郎	ws08	0.0	c	desital video decoder	佐々部 清	矢口 史靖
出茂 22太郎	ws22	40.0	c	desital virtual disc	崔 洋一	山田 洋次
出茂 20太郎	ws20	70.0	b	Data Versatile Disc	佐々部 清	矢口 史靖
出茂 25太郎	ws25	79.0	b	degital video disc	佐々部 清	矢口 史靖
出茂 21太郎	ws21	50.0	b	Digital Video Disc	佐々部 清	矢口 史靖
出茂 17太郎	ws17	10.0	a	Double Visual Disc	佐々部 清	佐々部 清
出茂 12太郎	ws12	50.0	b	degital video disk	崔 洋一	矢口 史靖
出茂 4太郎	ws04	40.0	b	degital compact disc	矢口 史靖	佐々部 清
出茂 10太郎	ws10	49.0	b	Digital Valuable Disk	佐々部 清	崔 洋一
出茂 13太郎	ws13	59.0	b	digital video disc	矢口 史靖	崔 洋一
出茂 15太郎	ws15	0.0	a	DigitalVideoDisc	山田 洋次	矢口 史靖
出茂 24太郎	ws24	100.0	b	Digital Versatile Disc	佐々部 清	矢口 史靖

アクション

オプション: カラムを管理

レコードをすべて表示

テーブルを更新

カラムを非表示/非表示解除

テスト詳細をディスクにエクスポート

学生レコードを貼り付けるには、[学生管理](#)に進んで学生レコードを選択します。このページに戻り、レコードを貼り付けをクリックします。

レコードを貼り付け

オプション: 検索

検索:

基準:

値:

比較:

検索

詳細サマリ: テストのテスト

質問: 直木賞

直木賞の副賞はいくらでしょうか?

a. 50万円 b. 100万円 c. 200万円 d. 500万円

回答サマリ

回答 値	度数分布
a	0% 3
b	100% 11
c	0% 3
d	0% 0

詳細統計情報

悩みの種、ポップアップブロック…

最近のほとんどの Web ブラウザには、ポップアップ広告の表示抑制機能（ポップアップブロック）がついています。ポップアップ広告が好きな人はほとんどいないのでこれはこれでいいのですが、WebCT の「テスト・アンケート」が実はこれにひっかかってしまいます。

ポップアップブロックをするように設定されているブラウザ（図は Firefox 1.0.7）でテストやアンケートを開こうとしても何もおこりません。慣れた人が見れば「ポップアップブロック機能が働いた」ことがわかるのですが、学生さんたちはなかなかすぐには気づいてくれないようです。WebCTの使い方で迷ったところはどこ？と学生さんにアンケートしたところ、5%以上がポップアップブロックを挙げていました。

後唐のテスト - WebCT 4.0.5 - Mozilla Firefox

http://webctriise.hiroshima-u.ac.jp/SCRIPT/momokara_01/scripts/serve

ポップアップがブロックされました。設定を変更するにはこのバーをクリックしてください。

WebCT myWebCT コースを再開 コースツリー ブラウザチェック ログアウト ヘルプ

桃唐のテスト

ホームページ > テストとアンケート > テストのテスト > アンケートのテスト

アンケートに回答する準備: **アンケートのテスト**

アンケートを始める前に

このアンケートで出題される質問について

- このアンケートの質問はすべて1度に提示されます。
- どの質問から回答しても構いません。

アンケートウィンドウをリフレッシュする必要がある場合は、アンケートの開始ボタンをクリックしてください。(注意) アンケートの開始をクリックすると、保存した回答はすべてそのまま保持してリフレッシュされますが、まだ保存していない回答は失われます。注意して使用してください

アンケートを開始

WebCT サーバによるポップアップを許可する必要があります。

このサイト (webctriise.hiroshima-u.ac.jp) によるポップアップを許可する

ポップアップブロック設定を変更(E)...

ポップアップをブロックするとき、このメッセージを表示しない(D)

桃唐の

ホームページ > テストとアンケート > テストのテスト > アンケートのテスト

アンケートに回答する準備: **アンケートのテスト**

ランダムに出題されるテストの作り方

毎回出題される問題が異なるテストを作ることができます。同じレベルの問題をたくさん作っておくのは大変ですが、学習効果はあると思います。

- 1.44 ページ (11) で、「質問を追加」ではなくて「質問セットを追加」とします。
- 質問ブラウザが表示されますので、出題する質問の候補をすべて選択（まだ質問を作っていない場合は必要な数だけここで作成してください）し、「追加」をクリックします。

3. 一つの問題の枠の中に複数の質問（質問の候補）が表示されます。「選択」の欄で、この中から実際に何問出題するかを選びます。
4. 「点」の欄に一間あたりの点数を記入し、「合計を更新」をクリックします。この図の例だと、1問25点の100点満点のテストとなり、8問中4問がランダムに出題されることとなります。

The image illustrates the steps to create a random test in WebCT. It is divided into three numbered sections:

- 1. オプション (Options):** A menu where the user selects 「質問セットを追加」 (Add question set).
- 2. 質問ブラウザ (Question Browser):** A list of questions (e.g., 3.1, 3.2, 3.3, 4.1, 4.3, 4.4, 5.2, 5.3, 5.3b, 6.1, 6.2, 6.3) with checkboxes. A bracket indicates that all questions are selected.
- 3. テストエディタ (Test Editor):** A table for editing the test 'HUSE'. The table has columns for 'No.', '点' (Points), '選択' (Selection), and 'セルフテスト' (Self-test). The '点' column is set to 25, and the '選択' column is set to 4. The 'セルフテスト' column lists the selected questions (3.1, 3.2, 3.3, 4.1, 4.3, 4.4, 5.2, 5.3). The total score is shown as 100, and there is a button to update the total.

質問データベース

このテキストでは、「テストを作成→質問(セット)を追加→質問の作成」という順序で説明しています。何回かテストを作成すると、以前作成した質問が質問ブラウザで選べるようになっていて、事に気づかれると思います。WebCT では作成した質問は全て「質問データベース」におさめられ、複数回のテストやアンケートで使い回せるようになっています。

以前のバージョンの WebCT では、「質問データベースに質問を作成→テストを作成→質問(セット)の追加→質問の選択」という順序でしか行えなかったため、はじめから質問データベースの存在を意識する必要がありました。このテキストで説明しているように現在のバージョンではそれほど質問データベースを意識しなくても良いようになっています。しかし質問データベースには質問の管理機能が備わっており、それを使うと便利な事がたくさんありますので、是非一度ご覧になってみてください。

質問データベースの管理画面は、「テスト・アンケート」の一覧ページから移動できます。

The screenshot shows the 'テスト・アンケート' (Test/Questionnaire) management page. A box highlights the '質問データベース' (Question Database) link in the top right corner. The page displays information about the test, including the number of questions, the number of questions to be selected, and the total score.

質問のエクスポートとインポート

質問データベースでは、テキストファイル形式で質問のエクスポートとインポートができます。同じような質問をいくつか作成する場合、WebCTのインタフェースをいちいち利用していると煩雑で時間がかかりますので、テキストエディタでテキストファイルを作成し、インポートするとよいでしょう。

ただ、インポートするためには決められた書式（ヘルプで完全なものが表示可能）でファイルを作成する必要があり、その書式を間違えずに記述するのは結構面倒です。最初にひな形となる問題をWebCTのインタフェースを用いて作成し、それをエクスポートした後必要に応じて修正、その後インポートするというのがよいと思います。以下に例を挙げましょう。

次のような質問をまず作成し、エクスポートします。質問データベースでエクスポートしたい質問をすべて選択し、アクションメニューの「オプション:質問」から「質問をエクスポート」をクリックします。



すると、お使いのPCに下記のようなテキストファイルが作成されるはずですが、ここで、このファイルは日本語コードがUNICODE(utf-8)となっており、表示・編集するにはUNICODE(utf-8)に対応したテキストエディタが必要であることに注意して下さい。

```
# 最初の質問： 選択～単一 2
:TYPE:MC:1:0:C
:TITLE: 選択～単一 2
:FEEDBACK:H

:QUESTION:H
矢吹ジョーの階級は？
:IMAGE:
:LAYOUT:horizontal
:ANSWERORDER:aslisted
:INDICES:letters
:ANSWER1:0:H
フライ級
:ANSWER2:100:H
バンタム級
:ANSWER3:0:H
フェザー級
:ANSWER4:0:H
ライト級
:CAT: 結果の表示テスト
# 最終の質問： 選択～単一 2
```

出力されたテキストファイルと元の質問を見比べてみると、各フィールドの意味がわかると思います。必要な設定事項は「:事項名:パラメータ」という形式で指示されています。

ボクサーの名前を変更し、正解を定義した質問を二つ作ってみます。テキストファイルを以下のようにすれば良いはずですが、変更した場所を赤い文字で示します。問題のタイトル(:TITLE:)は必ず変更する必要があります。コメント行はインポート時に保存されないため、特に変更する必要はありません。

インポートするには、質問エディタのアクションメニューで「オプション:質問」から「質問をインポート」をクリックします。作業を進めていくと、読み込まれる質問が下記のように表示されます。これが表示されたら、あとは「続ける」をクリックして完了となります。これまでの質問データベースに新しい質問が追加されます。

```
# 最初の質問： 選択～単一 2
:TYPE:MC:1:0:C
:TITLE: 選択～単一 3
:FEEDBACK:H

:QUESTION:H
畑山隆則の階級は？
:IMAGE:
:LAYOUT:horizontal
:ANSWERORDER:aslisted
:INDICES:letters
:ANSWER1:0:H
フライ級
:ANSWER2:0:H
バンタム級
:ANSWER3:0:H
フェザー級
:ANSWER4:100:H
ライト級
:CAT: 結果の表示テスト
# 最終の質問： 選択～単一 2
```

問題の数を増やすためには、上の例でいうと:TYPE:の行から:CAT:の行を必要な数だけ複写し、質問の内容を書き換えればOKです。一つのファイルに複数の質問が入っていても構いませんが、TITLE:は重複がないように注意して下さい。

